

60th

西湘放射線技師会
60周年記念誌



西湘放射線技師会

SEISHO Association of Radiological Technologists



西湘放射線技師会 40周年記念式典

X線発見100年記念講演会
西湘放射線技師会35周年記念式典

技師会創立 年記念式典



目次

西湘放射線技師会 会長 岩崎 豊.....	4
西湘放射線技師会 副会長 大久保 靖史.....	5
祝 辞.....	6
公益社団法人 神奈川県放射線技師会 会長 大内 幸敏.....	7
公益社団法人 神奈川県放射線技師会 理事 松尾 清邦.....	8
公益社団法人 神奈川県放射線技師会 前理事 松本 好正.....	9
正 会 員 祝 辞.....	10
名誉会員 中静 恒.....	11
宗像 源二郎.....	12
小宮 邦雄.....	13
千葉 良助.....	14
徳安 俊二.....	15
田中 宗夫.....	16
高橋 博.....	17
宗像 達也.....	18
平田 文高.....	19
小栗 丹.....	20
藤森 将史.....	21
吉田 覚.....	22
井上 侑真.....	23
原田 誠也.....	24
賛 助 会 員 祝 辞.....	28
富士製薬工業株式会社.....	29
日本メジフィジックス株式会社.....	29
バイエル薬品株式会社.....	30
コニカミノルタジャパン株式会社.....	30
ゲルベ・ジャパン株式会社.....	31
富士フイルム富山化学株式会社.....	31
キヤノンメディカルシステムズ株式会社.....	32
シーメンスヘルスケア株式会社.....	32
G Eヘルスケア・ジャパン株式会社.....	33
株式会社JVCケンウッド.....	33
富士フイルムメディカル株式会社.....	34
株式会社フィリップス・ジャパン.....	34
株式会社島津製作所.....	35
10 年 の 歩 み	36
西 湘 放 射 線 技 師 会 歴 代 役 員	55

西湘放射線技師会 会長挨拶

西湘放射線技師会
会長 岩崎 豊



改めまして西湘放射線技師会設立 60 周年を迎えましたこと、またそれを皆様とともにお祝いすることが出来ますことを心からお喜び申し上げます。

今から 60 年前といえば前回の東京オリンピックの 4 年前、イタリアでローマオリンピックが開催された年でもあります。鴨宮駅から新幹線が走りだすのも同様に 4 年間待たなければなりませんでした。逆にその年に生まれた方は今年で定年退職を迎えられるという年でもあります。

私が診療放射線技師になってようやく 30 年になろうとしています。本会の半分しか技師としての経験はありませんが、その短い間にも CT に次いで MRI が登場し瞬く間にどの施設でも当たり前の検査になってしまいました。その反面暗室が、そしてフィルムが無くなり技師学校のカリキュラムからは写真学も姿を消しました。エックス線フィルム濃度の減力補力調整も昔の話になりました。カルテもエックス線写真も今ではパソコンの箱の中です。これからの技術の発展でどんな画像を目にすることが出来るのかわくわくしますね。

私の場合、技師会活動には早くから参加させていただいておりました。福利厚生では新年会や納涼会の他に二宮海岸で地引網を開催したことがありました。何が獲れたか覚えていないくらい準備と運営で忙しかったですが、大勢の方に参加してもらえたことが嬉しかったです。またある時には有志が集まって箱根で一泊の勉強会(+温泉)をしたのもいい思い出です。これも技師会の繋がりがあればこそだったと思います。何より様々な活動を通じて先輩方から学びと経験を積ませていただけたのは、今の自分につながる財産だと思います。

本会の行事ではここ数年に渡り、子育て支援フェスティバルや糖尿病週間イベントといった地域に根差した活動に参加させていただく機会が増えてきました。会員からの自発的な意見により始まったものですが、県技師会とも連携して年を追うごとに充実した内容となってきています。

本会も人間に例えれば還暦となりました。皆様のご理解のもとここ数年は 100 名を超える正会員の方々と 20 を超える個人を含む賛助会員の参加を頂いております。これからの 10 年 20 年先を見据えて足腰を鍛え、良き伝統は次代に引き継いでもらうとともに、会員のためそして地域社会にも貢献できる活動が続けていく会として発展し続けることを期待いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

西湘放射線技師会 副会長挨拶

西湘放射線技師会
副会長 大久保 靖史



記念すべき創立 60 周年を迎え、会員の皆様にご心からお祝いを申し上げます。
また、幸いにして会員の皆様方のご指導とご支援によって、今日もかわらず活動を推進できますことに厚く御礼申し上げます。

当会が発足した昭和 35 年当時の歴史をネット検索にて紐解いてみますと、まだ人口 12 万人の小田原市、「伸びゆく小田原」と手書きで掲げられた駅ビル看板の画像が出てきます。国民年金制度の定着、小田原城天守閣の再建、東海道新幹線の新駅工事が進み、がんセンターとしての市立病院増築工事が行われ、本地区初の救急車とレントゲン車が導入され、結核検診に加え新たにがん健康相談も開始されました。そういっためぐるしい世の中と技術の進化のなか、当会会員の皆様が放射線を取り扱う技術者として地域医療の現場に於いてたくさんの診療に携わってこられたのだと感じ入りました。そして、先人の明に長けた諸先輩方のご尽力により、地域技師会として当会が発足し、横のつながりが強化されたことは大変に喜ばしく歴史的に見てもとても有意義なことでした。ネット環境がまだ整っていない時代から、基幹病院のみならず地域医療を支える中小施設の多くが参加されたことで活動がより活性化し、貴重な情報交流により得られ役立つものも多かったと思います。そして、その流れが学術講演会や最新装置の見学等に引き継がれ、現在の当会活動の基盤になっていることは誠に素晴らしいことであります。

先日、散歩をした際、ふと後ろ歩きをして今までの足跡を振り返ってみると視点が変わり、今まで見えていない景色に気づかされることがありました。同様に、今回 60 年という節目で当会の発足や当時の会員の皆様の思いを振り返った折、色々な気づきがありました。

当会が 60 年という還暦にあたるこの節目をのどやかに迎えることができますのも、運営を引き継がれてきた歴代の会長ならびに役員の方々のご尽力と会員の皆様方のご指導と暖かいご支援の賜物にほかなりません。楽しい親睦イベント、役立つ学術講演会、充実した地区だより、綿密な上部組織との連携、地道な環境線量測定、そして積極的な渉外活動イベントの数々。それらの全てにはいつも携わってご準備いただいている皆様のご尽力がございします。また、陰ながらご支援賜っております元役員・協賛会員の方々の熱意とご尽力もございします。今まで肌で感じてきましたその恩恵の重みを心新たに受け止め、この場をお借りしましてあらためて深く御礼申し上げます

私も役員活動を通じ、当会の本質を感じ取ることができました。単純な表現で誠に恐縮ですが、それは「とても楽しい」ということです。

そこには娯楽的な楽しさの他にもっと根源的な楽しさがあります。気づきや学び、会員との協調、尊敬、目標や課題、探究、成長、達成感があり、交流をするたびにそれらを分かち合え、生き生きとしてくる自分がいました。普段は裏方が好きな私ですが、当会はこのように気づきの多い場所でもありました。そしてさらに多くの新しい良い経験もさせて頂きましたことに心から感謝申し上げます。

今後とも当会のこの素晴らしい結束力を軸に、地域技師会としてよりいっそうの充実した活動ができますよう祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

祝 辞

公益社団法人 神奈川県放射線技師会
会長 大内 幸敏



西湘放射線技師会創立 60 周年を迎えられ、記念誌を発行するにあたり、心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

貴会におかれましては総会をはじめとして、会誌発行とホームページの運用、健康イベントの参加協力や勉強会の学術活動など、歴史ある技師会組織として活発な活動を行っています。また、毎年恒例の納涼会や新年会を通じて施設間で横の繋がりがあり、コミュニケーションが良くとれていると、納涼会に参加した時に思いました。このように活発な運営を継続している西湘放射線技師会が創立 60 周年を迎えられましたのも、諸先輩方々と歴代役員や岩崎会長はじめ現役員と、何より幅広い年齢層の会員皆様の並々ならぬご努力の賜であると深く敬意を表する次第です。県技師会としてこれからもお互いに技師会の発展に向け協力体制を継続しつつ切磋琢磨していきたいと思います。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、我々診療放射線技師の業務として未曾有の経験をしています。新型コロナウイルス対応の病院全体の運用や、部署内での感染対策など、本来の業務ではなかった対応が求められる時期であったと思います。また、西湘放射線技師会と県技師会の渉外委員会が協力して参加する予定でした県内自治体主催の多くの健康イベントがすべて中止となっています。県技師会事業においても、3 月ごろから6 月中旬はすべてのセミナーや講習会は中止や延期の活動停滞状態で、技師会運用の理事会や会議もできませんでした。ようやく 6 月 19 日に第 8 回公益社団法人神奈川県放射線技師会定時総会が開催でき、令和 2・3 年度の役員改選が行われ、3 期 5 年目となる会長職を継続することになりました。今現在、新型コロナウイルス感染の終息は見えないですが、終わりにしたいです。

県技師会のこの 10 年を振り返り、特に重要であった事柄を 3 つ挙げますと、①2011 年 3 月 11 日の東日本大震災において避難住民の放射線スクリーニングサーベイとして、日本診療放射線技師会より全国からサーベイヤーを派遣するにあたり、第 1 次派遣隊(16 日～21 日)の 12 名中 5 名を神奈川の会員より派遣しました。現在は県行政にも、原子力災害における診療放射線技師の協力体制が整備されています。②2013 年 4 月に社団法人から公益社団法人に移行しました。診療放射線技師としての専門性を有する事業を行いつつ、県民市民への公益性を有する事業を展開することで、本会事業の基本である「県民医療・保健に貢献する」を進めています。③2017 年度は「神奈川県放射線技師会創立 70 周年記念の年」として、2018 年 2 月 4 日に大会テーマ「未来へつなぐ放射線医療～信頼と技術～」を掲げ、第 17 回神奈川放射線学術大会及び創立 70 周年記念式典をワークピア横浜で、創立 70 周年記念祝賀会をホテルニューグランドにて開催しました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

最後になりますが、このたびの創立 60 周年を契機とした、西湘放射線技師会のさらなるご発展とご活躍をされますことを期待申し上げますとともに、会員皆様方のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

西湘放射線技師会 創立 60 周年を祝して

公益社団法人 神奈川県放射線技師会
理事 松尾 清邦



西湘放射線技師会が創立 60 周年を迎えられ、記念誌を発刊されますことを心よりお祝申し上げます。

60 年の長きにわたり、診療エックス線技師ならびに診療放射線技師の皆様が、この西湘放射線技師会で、ともに集いともに放射線技術を磨かれました足跡は、歴史に深く刻まれ、これからも力強く歩まれることと確信しております。

振り返りますと、新年会や夏の納涼会には、多くのご施設から沢山の会員の皆様が集い、大先輩方を囲んで和やかに情報交換をされておりました。新しい会員を全員で祝い、宴を楽しみました。この雰囲気こそ会員一人一人を支え、再会を待ちわびる皆様の気持ちに繋がっていると、つくづく感じております。

「相手を慕う心ここにあり」私にとっては大変魅力的な西湘放射線技師会です。

何度か秋季学術講演会にも参加させていただきました。皆様素晴らしいご発表をされておりました。今でも印象に残っておりますことは、通常は不可能と思えることも、最後まであきらめず努力し、工夫を重ねて独自の方法を探し出した MRI のご発表でした。私は今も解決できない問題に直面した時、いつも思い出しています。仕事を終えてからの秋季学術講演会、集う皆様に気遣い、配られた食事印象的でした。手作りのおにぎり、役員の方々の思いやりと、母親の温もりを思い出す貴重なものを頂きました。

小田原市立病院 中根 精先生には、釣りに誘っていただいた際、先生はどこへ行ってもたくさん魚が釣れ、私には釣れません。重要なのは魚の気持ちになって、仕掛けを丁寧に扱うこと。身をもって教えていただきました。我々は補助具や装置を扱います。丁寧に扱うことで良い仕事ができます。このことは生涯私の財産です。あらためて貴重なご指導に感謝申し上げます。

歴史ある小田原城を見ながら、相模湾の豊かな海の恵みを味わい、有名な箱根・湯河原の湯を楽しむ贅沢な環境は、どこにでもある土地ではありません。いかなる土地も、訪問する前に、何か興味をもって調べてみると、いざ訪れた際、景色や建物に感動し、地元の人と交わした言葉も思い出となり、幾度も足を運ぶきっかけとなります。

診療放射線技師にとって、興味ある歴史がこの地にあります。1970 年代、ほぼ完成されたフィルムスクリーン系の X 線写真が、銀価格の高騰をきっかけにデジタルへと進化しました。関係資料を読み進むと、富士フィルム足柄研究所のプレハブで、FCR の試作機が作られたとあります。フィルムに替わるイメージングプレート、暗室や自動現像機に替わった読み取り装置と画像処理技術。我々の先輩方が技術に磨きをかけ、さらに発展させた証が、多くの論文として検索できる時代となりました。画像診断技術を発展させたルーツがこの地にあり、多くの先輩方が関わったことも知りました。この先輩方が在籍した西湘放射線技師会に惹かれるのも、無理のないことかもしれません。

2020 年の現在、新型コロナウイルスの感染が世界中で大問題となっています。最前線でその放射線検査に関わる診療放射線技師は、生死をかけ戦っています。今まで以上の十分な感染対策を施し、患者さんと向き合っている日々が続いています。

あらためて西湘放射線技師会という身近な組織の存在があるからこそ、診療放射線技師という横のつながりを持ち、様々な問題に対して専門的な情報収集と分析、対策をまとめ、我々の前に現れる出来事に躊躇なく立ち向かっています。一番身近な組織こそ、「会員の顔が目の前に浮かび、案じて行動を起こせる」と感じております。

他県から移住してきた私を、温かく受け入れ、いままでご指導いただいた皆様に、この御恩を忘れず、少しでも技師会活動でお礼ができればと考えております。

これからも西湘放射線技師会 益々のご発展をお祈り申し上げます。

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 前理事
相模原地区放射線技師会 会長
松本 好正



西湘放射線技師会が創立 60 周年を迎え、記念事業の一環として記念誌が発行されますことを心よりお祝い申し上げますとともに、この 記念事業を企画された関係者の皆様に対しまして、深く敬意を表します。

私が西湘放射線技師会に関わり始めたのは毎年 5 月に開催される小田原子育て支援フェスティバルに渉外担当理事として初めて参加した事から始まります。《子育て》と標榜している為、若い家族連れの参加者が多く乳がん健診、骨密度測定などに多くの来場者に驚きました。西湘地区技師会の面々も参加者に積極的に説明をしている姿をみて大変勉強になりました。次年度からは毎回フェスティバルに参加していますが会員の方々の熱意は年々強くなり、私自身のモチベーションも上がりました。イベント後の懇親会も喜んで出席しました。毎年行われる招待を受けて参加した夏、冬の懇親会では多くの会員と対話が出来て楽しく実りあるものでした。相模原地区の会長として会の運営に学ぶところが多い時でした。

今年の 5 月で理事の任期を終了しますが貴会の会員の皆様方におかれましては、なお一層の技術の研鑽にご尽力されますことを期待いたしますとともに、会員一同のご協力のもと、益々発展されますことを祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

正会員祝辞

西湘放射線技師会創立60周年に

昭和60～61年度 西湘放射線技師会 会長

名誉会員 中 静 恒

創立60周年を迎えられた事、誠にありがとうございます。会員及び関係者の皆様と一緒にこの喜びを分かち合える機会を頂けました事は、苗を植えるお手伝いを出来、成長してきた過程を眼にしてきた一人として無上の喜びと言わせて下さい。尚、今回私に筆を執る機会をお与え下さり心から感謝を申し上げます。

当放射線技師会創立に繋がる「Xレーン研友会」から種を蒔き苗の植付で次第にコロニーからブロックへと気運が醸成され、昭和60年11月に神奈川県西湘地区に診療放射線技師会が誕生。これまでの経緯は今まで諸先生方から機会ある度述べられてご承知だと思います。勉強会的なコロニーから技師会への気運を各医療機関の技師の同志的な結束や信頼感を芽生えさせ、自然体で献身的に協力活躍を下さった昔流で言ったら飛脚も兼ねて下さった方で、終生忘れ得ぬ存在。当時技師間の連絡は文書を送るか電話でしか無く、賛助会員に籍を置く企業の営業の方を連絡網に致したりして頼みの綱。随分と面倒をお掛けしたと思っています。苗は育て60年目。会員各位や関係者の皆様のお力添え無くばと、これまで育て下さった事に心からお礼を申し上げ、尚一層の御協力を頂けます事をお願い致します。

今では頼れる樹々、旗揚げと言いますか活動下さった諸先輩先生方では60周年を観る事なく鬼籍入10指全ての先生方にも御協力感謝致し、泉下に御報告をと思っています。会の発展的活動を期待致して居ります。

昭和26年、エックス線技師法が出来、この身分法の制定で徐々に技師養成の教育施設が設立して開講される。それ以前に国内には極一部を除いては無い時代で身分法が出来た事で職業身分が社会的に認められた事でこの職業に身を置いて働く人々の人生を明るい方向に力を与え、日本診療放射線技師会を築き上げに動く将来に結びつく根源に成ったと思います。

戦前から当時の現場では、従弟制度に近い環境でX線の取扱、技術が伝承されて来て居て、これらに関する教育機関は極一部にしか無かったが、今は学校で専門教育課程で国家試験の受験資格を取得すれば診療放射線技師の試験に挑戦出来るから意欲を有する人々に明るい社会人の一つの人生の路を提示され私もこの職種で人生を決めた一人です。

X線技師法から診療放射線技師法へと世の変革に対応すべく技師会としても種々の勉強講座が続けられ、知識の吸収に開催地に足を運んだ励んだ日曜日でした。技師として守備範囲を拡大し医療界の進展変化する機器の取扱や駆使するに足る能力を発揮出来る人材としての習熟が要求されて来て居ると思っています。

昭和28年に初めてX線管なる現物に手をふれたのかX線と言う「コトバ」を記憶したのです。10年近く過ぎ技師免許に胸を張って居る自分でしたが縁を感じます。X線フィルムを使用した放射線業務がFCRに変わるフィルムレスは想像も致して居ませんでした。デジタル化された医療機器、医療技術等に依りX線画像の処理を精細にかつ高精度にして瞬時に診断の現場へ提供出来る事が大革命です。

X線CT、臨床利用は昭和47年で私の施設に頭部CT装置が6年後の昭和53年から稼働し、連日朝から夜まで年間1200～1300件、管球も幾度か交換しました。駆動させ目いっぱい働いた記憶、平成元年に入り全身CTに入れ替えて部位別の撮影件数を手に残っているメモ的記録を今回見付けてあの頃からヘリカルCTの全盛期に入って行ったのかと併せて造影剤の開発も諸科の症例に即したものが用いられる様になり、技師としての職務に没頭して毎日を過ごしたものです。

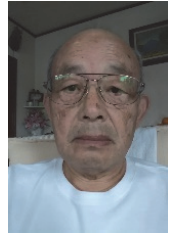
MRIやCTが大病院に導入され始めたのは平成10年頃かと思いますが、現在のデジタル画像診断の主力が顔を揃えた時期だったかなと、任天堂のファミコンが出現してから世の変化が速く成った様にも感じています、デジタル革命ですね。

私達の技師会創立50周年の頃に厚生省の方向性として医療スタッフの協力、連携に依るチーム医療の推進についての通達で医師を中心として各スタッフの専門性に積極的に目的と情報を共有して患者さん・家族に質の高い医療を実現と現しています。医療も各分担する検査資料や画像を含めて総合的に診断と言う決定段階に入れる訳ですから各スタッフの力量が患者サイドに立った時、100%の正しさを期待することに少しでも近づける努力の責任を感じます。

東日本大震災の後遺症、修復も進まぬ処に今般の新型コロナウイルス感染症の拡大は医療界に籍を置かれます技師の皆様は心理的、行動的にも制約で御苦労されていると思います。御健勝にて会の60周年を祝い節目で足元を固められ御活躍へと跳んで下さい。

平成元～2年度 西湘放射線技師会 会長

宗像 源二郎



西湘放射線技師会創立 60 周年記念、誠におめでとうございます

私が山近(記念総合)病院に着任したのは 1971(S46)年5月、若干 29 才でしたが今や 78 才、小田原人として間もなく 50 年に、思えば公私共に色んな事が有りました。

仕事の面では TV 装置はリングスタンドに、全身用 CT では(西湘、平塚、熱海)地区の検査依頼を受け、FCR、MRI、US、等医療機器が目まぐるしい程開発、進歩、発展した時代、忙しくも楽しい時代を送れました。

技師会活動については私が最初の地区委員は 75～76(S50～51)年でした。

当時は何処の施設もスタッフは少なく業務多忙、地区委員も半ば強引な押し付け合いの状態でしたが、学習会、ソフトボール大会(郡部 対 市部に別れて試合後の反省会が楽しみ) 次の地区委員は市立病院(水沢、橋本先生)、その次は足柄上(前原先生)、そして 81～82 年また私、そしてまた市立病院へ。

目まぐるしい押し付け合いでしたが反面楽しい病院間、技師間の交流が出来た事は大きな財産です。

お互い夜の町へ会えば結局仕事、技師会の話題。

夜の町メンバーも充実(水沢、橋本、中静、山田、渡部先生方。私と持田氏の七名)会を重ね放射線技師会への移行も具体化されました。

名称 西湘放射線技師会

初代会長 中静 亘 先生

85 年山田 孝先生地区委員 総会で 85(S60)年 11 月より名称変更

当時は日本、県技師会が技師会の組織化、待遇確立、教育の充実(四年生大学)、に取り組んで折りました。

小田原、松田地区委員の時は地区委員の孤軍奮闘で大変でした。

西湘放射線技師会に名称変更後は会も組織化、各担当役員のご努力により年々発展されている様子を見るに付けて、喜ばしく思います。

当初はパソコンも買えず徳安先生が唯一お持ちになり、以来通達文も綺麗に、大変お世話になりました。

祝うべき創立 60 周年記念行事が生憎のコロナ感染騒動の為、散々準備努力されて来た役員の方々には誠にご苦勞の事と思います。

コロナ感染騒動では医療現場の当事者であり、公私共に感染リスクは有りますので、リスクや体調管理に気を配り、晴れて皆さんお元気で創立記念式でお会い出来る日を楽しみに、心待ちにして折ります。

創立 60 周年記念に寄せて

平成 7～9 年度 西湘放射線技師会 会長

小宮 邦雄



西湘放射線技師会60周年誠にありがとうございます。この機会に私事で恐縮ですが、小生の技師生活を振り返って記します。昭和43年5月に神奈川歯科大学に就職した私は付属病院放射線科勤務と同時に放射線医学教室所属員にもなりました。教授は東與光先生で悪性腫瘍診断治療と共に、RI新核種を探す研究もしていました。新病院建設からはCO治療も加わりました。私も病院業務の傍ら先輩に教示して頂き放射化分析等に従事しました。就職当時は川崎市に住み、新宿区百人町に在った東京都立診療エックス線技師養成所第二部に学ぶ学生でも有りました。昭和43年9月卒業し国試合格後の翌年1月に神奈川県知事名の「診療エックス線技師免許証」を取得しました。当時の教育機関は専門学校のみで大学は皆無でした。

一般社会に理解が進まず、現在でもレントゲン技師と呼ばれることも多いですが、当時の高校教師も専門学校に進む私に対して大学に行くように勧めました。大学の教育課程にX線科が無いかを調べたのですが皆無でした。

さて、当時はマウスに腫瘍を発症させ放射化分析実験もしていましたので、放射線取扱主任者が必要との事で私が指名されました。講習会等を受講し難解で苦労しましたが昭和44年に第一種放射線取扱主任者免許を取得しました。神奈川歯大の在職期間は短かったですが他教室との交流もあり中身の濃い貴重な期間でした。週末徹夜での動物実験や立教大学に資料をお願いした際に原子炉を覗き、水中深く青白く燃える原子の炎は今でも記憶に深く残っています。日本で二番目に導入したオルソパントモ装置の新利用課題を頂き解剖学教室遺体安置室から頭部をお借りし唾液腺造影撮影の実験をして発表した事も有りました。東教授や池本先輩からは多くの経験を積ませていただきました。

その後 IHI 横浜診療所に移りました。放射線法改正による特別講習を受講し、昭和46年に診療放射線技師免許を取得しました。結婚して1年後に病氣療養の父との同居のため、小田原市酒匂の林病院に奉職しました。

東京生まれで都会生活では室内アンテナでTVが見えると思っていましたので、設置したTVが映らず戸惑いました。有難い事に上司の故渡部隆夫氏が職員を連れ来宅し長いパイプで屋根の上にUHFアンテナを設置してくれました。結婚まもなく父との同居と見知らぬ土地への転居で不安な思いの妻に笑顔が戻り私もやっと安堵しました。

当時の西湘技師会は「西湘Xレイ研友会」の名称で活動していた時代でした。現在も良き伝統が受け継がれていますが、敬愛する諸先輩方は年代差を超えて勉強会や懇親会を通じて親交を深めていました。

当時の小田原市周辺は田畑も多く故郷の大田区多摩川沿いの田園風景に似ており、近所の人付き合いもゆったりした雰囲気でも落着いた生活を送っていました。その後、町田市に「あけぼの病院設立」があり準備段階から参画し昭和53年末に勤務しました。林病院の送別会のほかに技師諸兄も送別会を開き祝って下さり感激しました。あけぼの病院が軌道に乗った頃に茅場町に設立した日本放射線技師会教育会館RI実験室が科学技術庁許可申請もできないまま未完成であることを知りました。

そして第一種放射線取扱主任者免許を持つ技師が公募となり、私が勤務することになりました。貴重な経験を積みましたが、今思えば激務になる事も大幅減収となることも予想できず無謀な事をしたとの後悔の思いもあります。

故中村会長から実験室設備完成と科技庁許可取得の指示を受けましたが工事費用も少なく業者や科学技術庁担当者との交渉も難航しました。その間に東京電子専門学校・加藤先生から会館で学生実習を受け入れてくれるなら設備一式を無償で永久貸与するとの申し入れがあり、契約も無事成立しました。業者との交渉で希釈槽等の設備コストも大幅に削減でき、核種と量については青山学院大木村教授の助言もあり、科技庁許可を無事取得しRI実習室を開設する事が出来ました。やがて鈴鹿市での大学設立が現実となり教育会館も移転する運びとなりました。

私は山近病院宗像室長からのお誘いを受け山近病院に移り小田原勤務に戻りました。途中、神奈川歯大鹿島教授からのお誘いが有りましたが、心ならずもお断りしました。山近記念病院には30年間勤務後退職し現在の生活が続いています。

西湘放射線技師会では設立時に渉外委員任命を頂き、会長職等も含め約10年間役員を務めさせて頂きました。

地元では永塚公民館副館長や自治会長等を長年務め本年3月に退任しました。今は二施設の社会福祉法人評議員を委嘱されています。高木整形外科医院で週一日勤務し、自宅裏の畑で野菜作りや雑草と格闘をしている日々を送っています。

後期高齢者と呼ばれ運転免許更新時には認知症テストも受けなければなりません、もう少し頑張るつもりです。

長文となりましたが読み頂きありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

つながり

平成 10～11 年度 西湘放射線技師会 会長
千葉 良助



昭和35年西湘Xーレイ研友会が発足し昭和60年西湘放射線技師会と改名され60年の長い歴史となりました。歴代役員、会員、賛助会員の皆様方の協力のもとで築き上げた歴史に敬意と今後の更なるご発展を祈念いたします。私も会員、役員として微力ながらも参加出来ました事に誇りをもっています。

私は2009年に小田原市立病院を定年退職し現在も診療放射線技師として働いています。

2009年に5施設を運営している透析専門のクリニックの本院に就職し撮影業務の他に胃がん検診も行っていました。市立病院在職中はCT検査を主に行っていた為、西湘病院の田村技師長さんをお願いして、見学させて頂き検診撮影法等勉強させて頂きました。大変有難く思っています。このクリニックには約9年間勤務しました。横浜までの通勤も今では良い思い出となっています。

2018年からは地元の整形外科クリニックに勤務しています。整形外科関連の撮影は昔から大の苦手で自分に勤まるかかなり不安ではありました。1日30～40人の撮影や30人程度の骨密度検査が日々あり、それを一人で熟す内に少しずつ自信に繋がっていきました。

昨年は同窓会の為、田舎に行く計画があり平日休暇を取る大変さを味わいましたが、西湘病院高木技師長さんのご尽力により技師の派遣をして頂き、旧友との再会を楽しむ事が出来大変感謝しています。

西湘放射線技師会会員の繋がりで徳安さん、駒木さんにも相談やお世話になった事があります。機器導入や放射線関連の届け等の的確な情報も聞くことが出来大変参考になりました。

賛助会員の前澤廣幸氏の事をお話したいと思います。

小田原市立病院勤務時代に池田医療電気社員として営業に来ていましたが、その後島津製作所に移り西湘地区担当で何度かお会いしていました。横浜のクリニックで暫くぶりに営業で再会し懐かしくもあり、なぜかほっとした事を覚えています。約2年後にクリニックに採用され部署は違いますが、グループの施設管理等で活躍されていました。

また会員だけでなく賛助会員の数名とお会いする機会もあり現役時代を懐かしく回想する事も出来ました。

今後も会員、賛助会員の皆様との出会いや再会を大切に日々過ごす事が出来たら嬉しく思います。

勤務上会の行事に参加することが難しい現状ですが一会員として西湘放射線技師会を応援し続けていきます。よろしくお願いします。

コロナ禍 どうぞ皆様ご安全にお過ごしください。

西湘放射線技師会創立60周年によせて

平成12～13年度 西湘放射線技師会 会長

(株)メディカルテック

徳安 俊二

西湘放射線技師会創立60周年を心よりお喜び申し上げます。

昭和35年に少数の診療放射線技師で始まった地区活動が、今日このように繁栄できたことは、ひとえに諸先輩、会員、役員の日々の積み重ねの賜物と思います。

昔話となりますが30年前、私自身、昭和60年の西湘放射線技師会と改名して以来、編集委員として地区便り第1号を発行し、その後、学術、会長職をさせていただきました。

思えば30数年前は、西湘地区の技師の情報交換を目的とした地区便りを発行するのに、見た目は悪いが安価にできるガリ版で刷るか、印刷屋さんに原稿をもちこんで、お金をかけて、体裁のよいものを発行するか二者択一でした。

原稿をお願いするのも、各施設に出向いてお願いして、それをもとに取材して補足するというスタイルで、その頃、ようやく普及しはじめた、個人用のワードプロセッサで1字ずつ漢字変換して、リボンテープで印字された文章の断片を校正しイラストを貼り付け、B4でコピーして発行しました。

現代と違い、個人用のコンピューター(パソコン)が普及していない時代では、診療放射線技師がキーボードにふれることは、一生ないだろうと思っていましたら、今や、放射線室はパソコンであふれかえり、パソコンの基本を理解していないと、放射線診療業務がまったく出来ない時代になっています。

ワークステーション、読影支援システム、診断ロボット、ロボット手術、コロナで話題の遺伝子解析機器等、コンピューターの導入により、私たちの日常業務がより簡便にかつ、スピーディーになっていく分、人と人との触れ合いが希薄になりつつあります。

回転寿司の入口にペッパー君がいてびっくりしたのは2～3年前のことですが、今や、車の自動運転もレベル3が実用化されて、東名高速を浜松くらいなら、ハンドル手放しでロボットが運転してくれる時代です。私たちの放射線室にも介助ロボットが入る日は近いと思います。

「光陰矢のごとし」のことわざのとおり、創立100周年になる40年先の未来の放射線室はどうなっているのでしょうか？

西湘放射線技師会創立 60 周年を迎えて大変おめでとうございます。

60 年と言うと半世紀以上この会を盛り立てていただいた先輩の方々、会員、賛助会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

現会員の多くの方が、たらちねより出でて居ない時から諸先輩の努力のおかげで、西湘放射線技師会が継続されておる事に大変頭の下がる思いです。

神奈川県内の技師会でも、大変まとまっており、活動内容も活発であるとの評価を得ておるようで、ありがたく感じております。

60 周年記念誌の依頼のおり、一つ返事で受けましたが、いざ筆を取ってみると、なかなか進まず、受けるのではなかったと反省しています。年寄りの言っている事と思って、あきらめて読んでいただけたら幸いです。

画像も、フィルムから、モニター診断と大きく変化し、技師諸兄も環境の変化に大変苦勞された事と思います。

しかしながら我々の基本である、ポジショニング、撮影テクニックは絶対守らなければと考える。

私事だが、一例で、他院から来た肋骨々折の患者様で第一肋骨の骨折が疑われるが描出できないとの事。第一肋骨の解剖的形態を頭に描きながら患者様の体型を頭に入れ撮影した所、ここだ！！と骨折部位が明瞭に写し出された。その時患者様がびっくりして『他院では何回も撮られて、分からなかったのに、一回で分かるなんて、すごい！！』と大変感謝された事等記憶に残る撮影であった。

これからの技師会を担う皆様も、日々諸先輩の技術を盗み、自分のものとし、患者様から感謝される様、頑張ってくれる事を願います。

新型コロナウイルスの影響で記念式典等が中止され、仲間と顔合わせが不可能となっていますが、私も一人で毎日を過ごして居ます。

鬼籍に入れられた先輩方の冥福を祈りつつ、これからも微力ながら西湘放射線技師会に参加して行きたいと、老人の一言。

昔も怖かった！

平成 20～23 年度 西湘放射線技師会 会長

高橋 博



患者に背中を見せるな！私が就職をした頃の先輩の助言です。患者に刺された技師さんが居たそうです。それに加えて放射線障害が危険だとか世間一般に言われていたので、親はこの仕事に消極的だった。その頃には伝染病は克服されてはいたが、けっこう接触の機会は有りました。オペ室の入り口には、靴の裏の菌が入らない様に、蠅取り紙の様なシートが用意されていたものです。受付の職員が感染不明の劇症肝炎で亡くなったり、治療出来ないクロイツフェルト・ヤコブ病など、怖い物がいっぱいあった。今では克服され、病院職の危険度が下がり、それに伴い危険手当が下げられちゃった。そこへ来て新型コロナだ。私達はまた昔のように怖い物が出て来て、我々技師も技術だけでなく危険を顧みる覚悟、決意が必要になって来た。きっと危険手当も戻るであろう。これをきっかけに、病院職は危険なのだから、待遇が前のように良くなる事を期待しています。

西湘放射線技師会の60周年記念、おめでとうございます。

皆さんがこの原稿を読む時は、新型コロナが下火になっているといいですねえ。

そうだ、その頃技師長さんも同じくらい怖かった。

60周年のお祝いとカブトムシとリモート

平成 24～29 年度 西湘放射線技師会 会長
小田原市立病院
宗像 達也



西湘放射線技師会創立60周年、誠におめでとうございます。
この歴史ある軌跡を心よりお喜び申し上げます。

西湘放射線技師会の活動範囲とほぼ同等である足柄平野は、四季折々の豊かな自然に恵まれている。松田国府津断層崖がある足柄平野東では、幼少の頃から国府津山を駆けずり回り、夏には友達とカブトムシやオニヤンマを捕りに勤しみ、秋にはアケビを採り味わい、四季を通して仲間と楽しんだものである。西には温泉で有名な箱根外輪山があり、小学校の遠足で公魚の捕れる芦ノ湖や甘酒茶屋近辺を訪れ秋の紅葉を愛でた。南には相模湾があり、週末や学校が早く終わった時には、国府津海岸や早川漁港で釣り糸を垂れて魚釣りを楽しんだ。そして、北は丹沢山地の西部に面しており、遠足で丹沢湖等にも訪れ、自然と戯れた思い出がある。このように、子どもの頃から成長を育んでくれたこの西湘地域に、並々ならぬ感謝と愛情を感じてならない。

その西湘地域に根差した『西湘放射線技師会』が創立60周年である。私の中で感謝と愛情と生業と言う類い希なコラボレーションをしている其の儀が60年の円熟期を迎え、この上ない喜びを感じている。

そしてこの『60』と云う数字には、色々な意味合いがある。通常十二支のみを干支と示す事が多いが十干と十二支の組み合わせが本来の『干支』で60年を一周期間とするそうであり、大切な節目であることが分かる。この事から推し量れるように、60歳は、還暦、本卦還りと云われ起算点となった干支に戻る事を示しているという。

近年、私の会長就任期間では、3つの取り組みを主軸に活動してきた。一つ目は「公衆衛生への貢献」である。渉外担当を設け、子育て支援フェスティバルにおいて乳がん検診の啓蒙活動、骨粗しょう症検診の啓蒙活動としては骨密度測定を実施した。二つ目は「西湘放射線技師会事務局の設置」である。事務局長及び事務局員を置き連絡や事務手続きの一括化を行った。三つ目は「情報・会報の刷新」である。「地区だより」をA4版とし、画像を増やし見やすくしたと共に、賛助会員の情報スペースの確保を行った。さらに、素早い活動や情報伝達に力を注ぐため、Web担当を設置しホームページの開設も行った。このように私の我俣を押し通し活動してきたが、当時の担当役員の並々ならぬ力添えがあり、各活動を完遂する事ができた。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

また、現在の世の中はCOVID-19禍であり、医療機関は非常に困難な状況に置かれている。本来であれば、お祝いの席にこのような事柄自体を文字に起こす事は、望ましい事では無いと思われるが、このような時であるからこそ、先ほど挙げた起算点や取り組みにについて視野に入れながら、会員の皆さま宛のリモート勉強会や役員のリモート会議等、また、会員相互の交流を目的としたレクリエーション活動のあり方等、新しい取り組みができる可能性について、現役員の皆さまには期待している次第である。

それでは最後に、西湘放射線技師会の皆さまご健勝と、更なる発展をされる事を祈念してお祝いのご挨拶とさせていただきます。



西湘放射線技師会創立 60 周年記念誌発行おめでとうございます。

私が診療放射線技師になって約 35 年が経ちました。私が放射線技師という仕事を知ったのは、高校生の時、実父が救急搬送された事でした。運ばれた病院で見た放射線技師さんのテキパキとした対応を見て、こういう仕事に就きたいなと思いました。

技師学校を卒業後、最初に勤務したのが、小田原市の小澤病院でした。小澤病院は救急指定病院であり、当時はポケベルを持たされていて、呼び出し業務を行っていました。いつポケベルが鳴るか緊張しながら、日々、生活していたものでした。

今では、その時代を懐かしいと思う反面、ポケベルも知らない世代の方々が活躍される時代になっていると思うと自分の年齢を強く意識してしまいます。

その後、湯河原町の湯河原厚生年金病院へと異動し、現在の JCHO 湯河原病院へと勤務先を変えております。ですが、ずっと西湘地区で働いており、西湘放射線技師会には大変お世話になっております。私が働き始めたころの一般撮影はまだアナログ画像が主流で、暗室での現像処理にもかなり気を使いました。実際に暗室での業務において、未撮影のフィルムを感光させてしまった失敗もありました。それが、今ではほとんどがデジタル処理化され、明室での作業が可能となっています。また、CT や MRI などの画像処理はどんどん複雑になり、しかし、三次元画像表示などにより分かりやすいものになってきていると思います。

日常はあまり考える事ありませんが、振り返ってみると撮影における技術の進歩には大変驚かされます。そのたびに放射線技師会を通じて、技師として必要とされる情報を提供してもらい、各施設間同士または医療機器メーカーとの情報交換のための場を用意したりしてもらいました。

技術革新のおかげで以前に比べて放射線技師の仕事は肉体的にはずいぶん楽になったと思われます。しかし、逆に色々なことが出来るようになって新たな診療情報の提供が求められています。また、今はより技術や知識の専門化が進んでいるようにも思います。

チーム医療の中でのコ・メディカルという言葉も出て来て、診療放射線技師の役割の重要性をひしひしと感じております。

また、放射線被ばくに関しても、医療被ばくの線量管理が義務化され、患者からの相談を受ける機会も増えて来ています。また、接遇マナーが必要とされる場面も多くなりました。

まだまだ自分がやらなければいけないことは数多くあると思います。これからも精進して技術、知識及び接遇の向上を行い、環境整備に努めて、より良い医療の提供に向けて活動するつもりです。今後とも西湘放射線技師会からのご支援をよろしくお願い致します。

創立 60 周年を迎えて

医療法人尽誠会 山近記念総合病院

小栗 丹



西湘放射線技師会創立60周年おめでとうございます。

私が現在の職場である山近記念総合病院に入職したのが今から 15 年前で、入職と同時に西湘放射線技師会に入会させて頂きました。入職時期が2月ということもあり、直後の総会の場で皆様に挨拶した時のことを今でも鮮明に覚えています。当時は編集委員の末席を努めさせて頂きましたが、右も左も分からず先輩方にご指導頂くばかりでした。

その後もなんとか活動が続けて行き、時代の流れに乗れるようにと西湘放射線技師会のホームページを作成する大任を任せて頂ける事になりました。それでも当時は自分の知識不足もあり、拙いホームページであったことを思い出すとお恥ずかしい限りですが、後任担当の方が見易くて情報量の豊富なホームページに仕上げていただけた事でより多くのことを地域の技師の方々へ発信することのできる場を作っていただけた事に感謝しております。そして微力ではありますが自分も会の発展に貢献出来たことを嬉しく思います。

我々診療放射線技師に求められている事は時代が経つに連れて年々多くなってきております。新しい技術が発表されればそれをどう撮影に生かして、より良い画像提供ができるか常に切磋していかなければなりません。最近では線量管理が法令で施行されることとなり、質の高い画像を提供する事に加えて適正な線量を管理することも求められています。

法令で施行されるという事は国がそれだけ重要な事であると認めているという事です。医療被ばく大国と言われている日本で、国民の健康を守る為に診療放射線技師が一層取り組まなければならない事であるという意味でもあります。

具体的にどのような事に取り組めば良いのか、線量管理をしていく上で必要となる事は何か、個人で対応するには限界がありますので技師会が定期的に行っている勉強会やホームページなどで情報を共有していける環境が必要になってきます。そのために今後ともより一層会を盛り上げて行き、後進の技師育成、地域医療への貢献に少しでも力になれるよう自分も取り組んで行きたいと思っております。

最後になりますが、西湘放射線技師会が今後もさらに発展していくことを期待するとともに、会長をはじめとする役員の皆様、会員の皆様の益々のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

西湘放射線技師会創立 60 周年記念に寄せて

小田原市立病院

藤森 将史



この度は西湘放射線技師会創立 60 周年を迎えられ、誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

この記念すべき節目の年に刊行されます記念誌に、寄稿させて頂く機会を賜りましたことに御礼申し上げます。

60 年という年月は、当会の先輩方の築いたものを時代の変遷に伴い、生物が環境の変化に適応すべく進化を続けてきたよう、会の在り方をよりフレキシブルに変化させ、披荆斬棘して会の重み、厚みを持たせながら歩んできた時間であると拝察しております。また、先輩方から受け継いだものの重みと重責を感じながらも、日々、会の運営にご尽力されている役員の皆様にも敬意の念を表します。

私が参加させて頂いた会はどれも、肩肘張らず和やかな空気感で、会員同士、当会全体の仲の良さを感じるものばかりでした。私の感じたこの雰囲気こそ当会の先輩方が、築きあげてきたものの一端であり、そういった雰囲気がまた、より良い関係づくりにも生かされているのだと思います。そのように形成されてきた会だからこそ、地域での協調やまとまりも他会に誇れるものであります。また、参加させて頂いた会の趣旨とは何ら関係のない、いわば雑談のような話で撮影に関するお話を当会の先輩とさせて頂いた際は、その方の撮影に対する情熱、熱意を感じ同じ診療放射線技師という技術職である自分も熱くさせられた記憶があります。

これらの会全体の雰囲気や個々のモチベーションの高さは、会や団体の規模や大きさだけでは計ることのできない素晴らしいものだと思います。

2020 年は、新型コロナウイルスとの戦いではじまり、現在その状況は見通しの立たないままといっても過言ではありません。今まであたりまえに思い、あたりまえに行ってきたこと、それらが、職場内にとどまることなく日常生活にまで及び、私が診療放射線技師になってから学んできた働き方、日常におけるライフスタイルの見直しを求められる起点となりました。緊急事態宣言が発出され社会全体が大きく変わろうとしている時に、外出自粛もあり私自身が何を出来るかを考える時間は多くありましたが、結局のところ私が個人で出来ることなど取るに足らない事しかないと感じていました。私以外にも自分だけがこんなことしてもと感じていた方は多くいたのではないのでしょうか。

個々が自分の出来る範囲で全力を尽くす事が大きな力になる。SNS を通じて世界中のアーティストやスポーツ選手が発信していたことですが、個人の力量以上に社会に属するものとして社会との協調を改めて深く考えさせられる期間になったことは間違いありません。このことは、診療放射線技師としても同じことが言えると思っています。すべてのモダリティ、従事しうるすべての領域に対し高い次元に到達できるよう日々研鑽を積み重ねていくこと、それは我々に求められることですが、必ずしも自分だけの力で達成できるとは限りません。その時に、先輩や同期、後輩であっても自分以上のスキルであれば教えを乞う、自施設で難しいのであれば他施設の方にご教授を願うなどする必要が出てくる場面も多くあるかと思います。院内であれば科内はもちろん、科外のスタッフとの協調、院外であれば研究会や技師会関連の方との交流の中で得られるものが一人では到達できない領域まで自身を成長させてくれるものになると思います。

西湘放射線技師会の益々の御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。



西湘放射線技師会創立 60 周年誠におめでとうございます。

小田原に住みはじめて早8年の歳月が経ちました。豊かな自然に囲まれたこの土地を私はとても気に入っています。最初に住んだ所は多古にあるマンションの四階角部屋。窓からは富士山を眺めることができました。夏には赤い夕陽を背景にした堂々とした姿や、寒い冬には雪化粧を施した姿をみせてくれました。建物の一階にはイタリアンレストランと大家さんが経営するお花屋さんがあり、記念日などのイベントがあるたびに美しいブーケを作ってくれました。この近辺には玉宝寺があり五百羅漢像が安置されています。高さ 50 cm 位の木彫の仏像が五百体以上あり、鑑賞していると心が洗われていく感じがします。五百羅漢はお釈迦様のお弟子さんが 500 人いたことからできた言葉のようです。また、お釈迦様の言葉として伝えられている中に「対面同席五百生」というのがあります。この言葉は同じ机で対面する人の間柄は、過去世でも何百回以上も何かしらのご縁があったそうです。今、自分の目の前にある人がいたとします。その方は地球の全人口何十億人の中の一人です。それだけでも奇跡的な出会いであり、その出会いが過去に何回もあったと想像すると自然と優しくなれます。

羅漢についても一つ。この言葉はサンスクリット語でアラカンの音写らしいです。

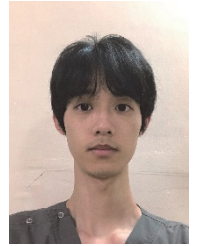
Around 還暦(60歳)の略だとか。西湘放射線技師会も還暦。毎年、新年会などで集まりますが会員の皆さん全員、お釈迦様の弟子に負けないくらいの素晴らしい人達です。

医療は日進月歩だと学生の頃から聞いてきましたが、実際に医療現場で働いていると、そのことを強く実感します。我々、診療放射線技師の仕事は今後さらに高度な技術と知識が必要となるでしょう。そのためにも個人での学習や会主催の勉強会などに積極的に参加するなどの努力を今後も続けていきたいと思います。

最後になりましたが、令和元年度定期総会の議長と今回の祝辞という大役を経験させて頂きありがとうございました。会員の皆様のご活躍を祈念しつつお祝いの言葉とさせていただきます。

医療法人社団 中山会 湯河原胃腸病院

井上 侑真



西湘放射線技師会設立 60 周年おめでとうございます。

病院に就職するとほぼ同時に技師会に入会し、今年で 6 年目となりました。多くの活動に参加させていただきましたが、自分の中で特に印象に残っていることを幾つか書いていこうと思います。

一つは入会した初年度の納涼会です。初めてのイベント参加でした。立ち振る舞い方は？何を話せばいいのだろうか？などと色々考えているうちに、新入会員の挨拶として壇上に上がることになりました。緊張で頭の中を真っ白にしながらも話し終えると大きな拍手をいただき、このとき自分も技師会の一員になれたのだと強く実感できたことを覚えています。

もう一つは小田原市で開催された子育て支援フェスティバルです。ボランティアの一員として参加させていただいたことがありました。当日は開場から多くの方が技師会のブースまで足を運んでくださり、不慣れな自分は慌ててしまう場面もありましたが、その度に先輩方から助けていただきながら一丸となって活動できたのではないかと感じています。とても達成感のある充実した一日でした。

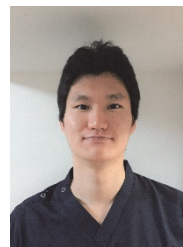
学術での知識の獲得はもちろんですが、渉外などの活動を通して勤務先以外で先輩方や後輩達とコミュニケーションをとる機会を得られることは自分の中ではとても貴重な経験です。

今後も変わらず西湘放射線技師会の活動に参加し、微力ながらも貢献できればと思います。

鷹山の人生から学んだこと

神奈川県立足柄上病院

原田 誠也



西湘放射線技師会創立60周年おめでとうございます。診療放射線技師になってまだ1年しか経過していない私にとっては、60年という年月西湘放射線技師会が継続されてきたことに敬意を表するとともに、その一員として活動できることを大変うれしく思います。

現在の自分の考え方に大きな影響を与えた歴史上の人物として上杉鷹山(うえすぎ ようざん)がいます。上杉鷹山は、あのケネディ大統領が最も尊敬した日本人政治家で、多くの人の座右の銘となっている「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という言葉を残した人物です。この名言は「どんなことでも強い意志を持って行えば必ず実現する、結果が得られないのは成し遂げる意思を持って行動しないからだ」という意味だそうです。

鷹山は10歳で米沢藩の婿養子になり、17歳にして藩主となります。財政危機の米沢藩を立て直すために様々な改革を行いました。まずは自分の食事を一汁一菜にし、衣服も絹から木綿へと粗末なものに変え、女中も50人から9人に減らしました。一年間の収入・支出・借金を帳簿にまとめ管理することによって自ら儉約の道を示したのです。また名産品を作るために他藩などから講師を招くことにも尽力しました。家臣に対しても昔からのしきたりなど気にせず、普段声をかけない身分が低い家臣にも声をかけ、農民の心を知るために自ら田を耕し(家臣はこの出来事以降荒れた土地の開発や、堤防の修復を行う)、領民の声に耳を傾けるために意見箱を設置するようにしたのです。私はこのように藩のため、領民のためを思い自らも積極的に行動し、改革を進め財政を立て直した鷹山に感服しました。

しかし強い意志だけでは実現はできないこともあると思っています。私は高校時代、勉強や部活に対して目標を立て達成すると強く思い努力していました。ですが希望していた大学には行けず、部活においても自分の望むような結果にはなりません。達成できなかったのは何が原因かを考えていると、目標を達成した仲間と自分との違いに気づきました。それは努力を正しく積み重ねているかどうかということでした。改めて鷹山の生き方を見てみると、財政危機を立て直すために少しずつ様々な視点からの努力を段階的に重ねていました。それと比較して自分はただがむしゃらに頑張るだけで、積み重ねを意識していませんでした。この経験から専門学校では「現場で役に立てるような知識を身につけた診療放射線技師になる」という目標を立て、挑戦できる全てのことにチャレンジし、努力の積み重ねを意識した行動をしてきました。行動した結果、第1種放射線取扱主任者 試験合格をはじめ自分の予想よりも遙かに充実した3年間を過ごすことができました。無事、診療放射線技師にもなることができ現在足柄上病院で働くことができます。学生時代に学んだ知識のおかげで新たに学ぶことも定着しやすいと、この一年を通じて感じています。このことから常に強い意志を持って考え、努力を積み上げていくことはとても重要だと感じました。現在の目標は、どのモダリティであっても自分が得た知識を利用して患者様の負担が少ない検査を行い、できる限り診療に有益な情報を提供できる技師になることです。この目標を達成するために日々精進していきたいと思っています。

最後になりますが、今回若い自分にこのような機会を下さった西湘放射線技師会の先輩方をはじめ、小田原市立病院 長岡さんに感謝申し上げます。今後も勉強会やイベント等に積極的に参加し、微力ではありますが西湘放射線技師会が長く継続されるよう尽力していきたいと思っています。

渉外活動



学術活動



福利厚生活動



懐かしき
日々



賛助会員祝辞

創立 60 周年への祝辞

富士製薬工業株式会社

福嶋 敏彦

西湘放射線技師会 創立 60 周年を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

60 年という長い歴史を積み上げてこられたのは、貴技師会の皆様方の並々ならぬ活動の成果であり、診療放射線技術の向上発達に尽力され、また様々な活動を通じて地域医療および保健の維持発展に貢献されたことに深く敬意を表する次第でございます。

歴史ある西湘放射線技師会に賛助会員として入会させて頂いておりますが、記念すべき 60 周年という一つの節目を皆様とともに迎えることが出来たこと、大変嬉しく存じます。

弊社としましては 造影剤を取り扱うメーカーとして、医療機関の皆様方のニーズにお応えしながら製剤の開発・販売を進めて行くとともに、画像診断に関連した情報提供を通じて地域医療に貢献出来るよう努める所存でございます。

西湘放射線技師会の更なるご発展と会員皆様方の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

西湘放射線技師会創立 60 周年に際して

日本メジフィジックス株式会社

尾崎 太一



この度は西湘放射線技師会創立 60 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。またこのような記念すべき場におきまして、ご寄稿の機会をいただきましたことお礼申し上げます。

弊社は核医学検査に用いられますアイソトープ医薬品の提供にて長年お世話になっております。製品の中には数十年前に発売を開始し、現在まで変わらず提供させていただいている製品もございます。しかし西湘放射線技師会の方々が歩まれてきた歴史は 60 年と遥かに長いものであり、今日まで積み重ねてこられた歴史を振り返り感慨を覚えております。

弊社は 10 年前の 50 周年記念にも賛助会員としてご一緒させていただきました。この場をお借りいたしまして、核医学につきまして 50 周年記念からの 10 年を振り返らせていただきたいと思います。

この 10 年で核医学を取り巻く環境も変化致しました。ドパミントランスポーターシンチグラフィの導入や PET 検査の全国的な普及、心筋虚血診断における心筋 SPECT の更なる活用など明るい話題がございました。一方、モリブデンの輸入制限によるテクネチウム製剤供給トラブルでは先生方に多大なご迷惑をお掛け致しました。また核医学検査数の低下など必ずしも明るい話題だけではございませんでした。

しかし弊社と致しましてはそのような出来事も受け止め、核医学だからこそできることを発展させていくことを目指して次の 10 年に臨む所存です。現在、モリブデン国産化による製剤供給の安定化や核医学を用いて診断と治療を直接繋げるセラノステクスの普及に向けて事業を進めております。先生方に早く吉報をお届けできるよう精進してまいります。

ぜひ 10 年後も今回と変わらず先生方とご一緒させていただけるよう、最大限努めさせていただく所存です。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。

バイエル薬品株式会社

ラジオロジー事業部関東2営業所

吉村 彰弘



この度は、西湘放射線技師会様におかれましては60周年を迎えられましたことを謹んでお祝い申し上げます。私は昨年4月より西湘エリアを担当させて頂いておりまして、今後末永くお付き合いをさせて頂きたく存じます。今年は新型コロナウイルスが突然現れまして国民が危機にさらされる中、医療関係者の皆様のご尽力にて終息に向かっているものと存じます。西湘放射線技師会の皆様におかれましても敬意を表しますと共に感謝申し上げます。

さて、弊社バイエル薬品でございますが、ここ10年にわたりましては堀一、石井、加藤、藤本が担当を引き継がせて頂いておりまして昨年春より私、吉村が担当させて頂いております。過去より様々なイベントへ参加させて頂きまして皆様方とのお付き合いを続けさせて頂いております。本当に有難うございます。

尚、弊社製品につきましては2015年に新しいMRI用造影剤「ガドビスト静注 1.0M シリンジ」を発売させて頂きました。従来、「マグネビスト静注シリンジ」を長きに渡りご使用頂いておりましたが、環状型 1.0M 製剤でございますガドビストへ移行し現在では多くの施設様にてご使用頂いております。

又、2012年にグループ企業でございました日本メドラッド社を組織的に統合し造影剤のインジェクターも販売させて頂いております。その後、2014年には被ばく線量管理システム「ラジメトリクス」も販売致しております。今後、造影剤からインジェクター、線量管理システムまで幅広く放射線科領域にて貢献できますよう邁進していく所存でございます。最後になりますが、西湘放射線技師会様の益々のご発展と皆様方のご健勝を心より祈念致しております。

コニカミノルタジャパン株式会社

内田 吉昭



西湘放射線技師会がめでたく創立60周年を迎えられました事を心よりお祝い申し上げます。

貴会は設立以来、放射線の安全利用及び診療放射線技術と会員様の資質向上を図られ歩まれてきた事と存じます。この10年を振り返ると2011年3月に東日本大震災という世界中に大きな衝撃を与えた災害がありました。コニカミノルタは同時期にワイヤレスカセッテ型DRシステムを発売し、その後多くの御施設様での御採用を経て2018年には胸部単純X線検査において動画撮影を実現するシステムを発売致しました。今後も放射線検査領域で進化するデジタル技術を礎に『技術はひとに同期する』をコンセプトとして活動をさせて頂きます。貴技師会は活動も非常に盛んで、勉強会への御協力以外に情報交換会を楽しみにしております。

最後に西湘放射線技師会の益々のご発展と会員皆様のご活躍を祈念いたします。

西湘放射線技師会 60 周年祝辞

ゲルベ・ジャパン株式会社

東海関東営業

渡辺 慎二

この度は西湘放射線技師会が発足から 60 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

60 年にも及ぶ会に参加させていただいている事を大変光栄に思っております。

ゲルベ・ジャパン(株)は造影剤専門メーカーとして 2018 年 10 月より営業活動を開始しました。活動を始めて直ぐに西湘放射線技師会から声をかけていただき参加させていただくようになりました。有難うございます。

定期的に発行されます会報誌を拝読させていただき当会の歴史を勉強させていただいていると共に素晴らしい活動内容を共有させていただいております。又、昨年は納涼会に参加させていただきました。会員の皆様との楽しい親睦の場となりました。大変有意義な時間を過ごさせていただき有難うございました。

ゲルベ・ジャパン(株)としては講演会(勉強会)の企画は今のところありませんが、今後チャンスがあればそのような活動も共催させていただきたく思っております。造影剤専門の製薬会社として西湘放射線技師会の今後の発展に寄与できれば嬉しく思います。

西湘放射線技師会の更なる発展と会員の皆様の更なるご活躍と健康を祈念いたしまして祝辞のご挨拶とさせていただきます。

富士フイルム富山化学株式会社

PET・造影剤営業部 PET 学術担当 杉原 寛吏

東京第二支店 青山 英司



この度の創立 60 周年ならびに記念誌の発刊、心よりお慶び申し上げます。

貴会が創立された 1960 年は日本で放射性医薬品が頒布開始された年ですが、弊社はまだ発足しておらず 60 年という歴史の重みをひしひしと感じております。

私は 2009 年より西湘地区担当となり西湘放射線技師会と関わることとなりました。また、平成 26 年度秋季学術講演会では賛助会員演題を、会報 Vol.81 では賛助会員紹介を務めさせていただきました。若輩者に貴重な体験をさせていただき、現在の私があるのも会員の皆様のおかげでございます。

現在は異動で PET・造影剤営業部として東日本を駆け回っております。

縁あって現在は小田原に住居をかまえ東京まで 2 時間かけて通勤しています。

西湘放射線技師会の益々の発展と活躍を祈念して、創立 60 周年のお祝いの挨拶とさせていただきます。(杉原寛吏)

西湘放射線技師会が創立 60 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

今日、様々な画像診断モダリティが普及し医学の発展があるのも先生方のご尽力の賜物と存じます。

私は一昨年から西湘地区を担当させていただき、納涼会、新年会等でお世話になっておりますが、今後は貴会の発展に寄与できるよう努力していきたいと考えております。また、弊社は 2018 年 10 月の会社統合により感染症を始めとした新たな領域にもチャレンジしていくことになりましたが、放射線領域が会社の柱であることに変わりはないのでこれからも先生方と共に歩んでいけたら幸いです。

西湘放射線技師会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。(青山英司)

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

平田 学



この度は、西湘放射線技師会創立60周年、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。又、会員皆様の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。

さて、この10年間を振り返りますと、弊社は2018年にキヤノンメディカルシステムズへの社名変更という大きな変革がございました。弊社は東芝の医療事業開始を起として100年近い歴史があり、皆様にご愛顧頂きました。それだけに社名変更には大きな不安もありました。また、ユーザーである皆様にもご心配をおかけしたのではないかと危惧していました。ただ私たちの会社組織や業務内容が一切変わることなく、最新の医療機器や情報を医療現場の皆様提供することを通して患者様の健康に貢献するという使命は変わらないことに気づき、前にも増して精力的に営業活動を行ってきました。私達と接する皆様も、『キヤノンになっても変わらないな』と感じていただけたのではないのでしょうか。

又近年には、医療被ばくの線量管理が義務化されるなど行政の動きもありますが、弊社は放射線機器を扱うメーカーとして被ばく低減に向けた技術開発に力を注いでおり、人口知能(AI)技術を使った画像処理技術や被ばく管理の業務支援システムの提供など、皆様の抱える課題解決の一端を担えるよう努める所存です。

そのような活動を通して、西湘放射線技師会の皆様にとって弊社が、より身近で、頼りになる存在となれるよう努めてまいりますので、変わらぬご支援の程宜しく願い申し上げます。

最後に、現在、世界規模で新型コロナウイルスの感染拡大という歴史的な問題が発生しています。そのような状況でも日々医療の最前線で患者様の治療に尽力されている皆様に、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

シーメンスヘルスケア株式会社

会員統括営業本部 東日本営業本部 横浜営業所 営業所長
嵯峨井 真也

西湘放射線技師会創立60周年に際し、心よりお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の治療や予防の最前線で戦ってくださっている皆様に心より敬意を表します。

さて改めて振り返るとこの10数年間は、類稀なる飛躍的な技術革新を遂げた時代だったように思えます。一方で医療を取り巻く環境は急激に厳しさを増し、医療機関を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。そして医療サービスの効率を上げコストを下げつつも、医療サービスそのものの質は上げていくという、難しい課題を克服していく必要性に迫られています。

このような環境下で、私たち Siemens Healthineers がパートナーとして何ができるのかということを考え、「お約束できる価値(Value Promises)」として定義したものが4つあります。これは、「プレジジョン・メディシンの拡充」、「医療サービス提供の変革」、「ペイシエント・エクスペリエンスの向上」、そしてそれらすべての価値の創造を下支えする「医療デジタル化の推進」です。個々の製品やサービスが持つ優れた技術や特性だけでなく、その先にある真の価値を実感いただくというお約束です。

また私たち Siemens Healthineers は画像診断・治療分野事業のシーメンスヘルスケア(株)と体外診断薬事業のシーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス(株)の営業・アフターサポート体制の一体化を推し進め、グループを挙げて、お客様にとってより高付加価値、高効率なサービスをご提供してまいります。

シーメンスが日本で最初の医療機器を納入してから、すでに120年が経ちました。Siemens Healthineers となつてより一層、私たちがご提供するソリューションが日本の医療機関のバリュー向上に幅広く貢献し、皆様から真に信頼されるパートナーになることを目指しています。今後とも先生方からの変わらぬご指導ご鞭撻を何卒宜しく願い申し上げます。

祝 辞

G E ヘルスケア・ジャパン株式会社

神奈川支店 支店長
大津 英哲



このたび西湘放射線技師会が創立 60 周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、1960 年 6 月に会員数 15 名で前身である西湘 X-レイ研友会として設立されて以来 60 年の長きに亘り、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上を図り、医療水準の向上に多大なご貢献を果たしてこられていることに対し、心から敬意を表します。また、現在では会員数が 100 名を超えているとのこと、非常に喜ばしく思っております。

10 年を振り返ってとのお題を頂戴しましたが、西湘放射線技師会と弊社の 10 年は、エリア担当者が 4 回変わるという人事異動の多い 10 年間で、ご迷惑も多々お掛けしたと思われ、この場をお借りしてお詫び申し上げるとともに、挽回すべく頑張りたいと思います。そのような中、私自身は早いもので神奈川県に赴任して 4 年となりました。この 4 年間、営業車を乗り回し、賑わっている町、きれいな海、緑が豊かな山、箱根駅伝のルート等々と色々な顔を持つ西湘エリアを堪能しておりました。

外勤することが大好きでしたので、この度の新型コロナウイルスの影響によるリモートワークは、泳ぎ続けなければならない回遊魚のような小職には不向きなものと思っていました。しかしながら実際にはリモート会議、WEB セミナー、WEB トレーニング、リモートプレゼンと出来ることは非常に多く、しまいにはリモート飲み会を開催するまでに至っております。

これからもニューノーマルと言われている働き方、暮らし方を実践しながら西湘放射線技師会の皆様をはじめ医療機関の皆様のお役に立てたらと考えております。

末筆になりますが、西湘放射線技師会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

株式会社 JVC ケンウッド

藤山 正活



拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃はひとかたならぬご懇情を賜わり深謝申し上げます。

このたび西湘放射線技師会様におかれましては 創立 60 周年をお迎えになられたとのこと、心よりお祝い申し上げます。創立より患者様及び地域医療の発展のため多くの苦難を乗り越えられ、この年をお迎えになられたのは、皆様方のたゆまぬ努力の賜物と敬服いたす所存です。

さて、私共「(株)JVC ケンウッド」は本社を神奈川県に構える地元企業として西湘放射線技師会様を通じて地域貢献活動に取り組むため、本年より賛助会員とさせて頂く運びとなりました。そこで簡単ではございますが弊社紹介と今後の取り組みにつきましてご紹介致します。

弊社は 2013 年に医用画像モニターで大きなシェアを持つ TOTOKU のモニター事業を継承し、ヘルスケア事業をスタート致しました。TOTOKU は 1975 年に超音波診断装置用モニターの発売をきっかけとして長年に渡り、医用画像表示モニターに携わっており、現在は「JVC」ブランドとして PACS、X 線装置や内視鏡などに使われるモニターの製造と販売を行っております。

この医用画像表示モニターについては 2008 年の診療報酬改定により、医療現場のデジタル化と共に着実に定着してきておりますが、導入からモニターの精度管理が行われなかったことにより、経年劣化に気づかず、診断結果に重大な影響を与えそうになったという声を多くのご施設から聞きます。弊社は安心して安全な読影環境を構築するため、JIRA が制定する「医用画像表示用モニターの品質管理に関するガイドライン JESRA X-0093」に基づき、モニターの精度管理方法について、ご案内やデモンストレーションを行っていく所存です。

西湘放射線技師会 創立 60 周年のお祝い

富士フイルムメディカル株式会社

南関東支社 神奈川支店
塚田 徹



西湘放射線技師会の創立 60 周年を迎えられました事を心よりお喜び申し上げます。

昭和 35 年より発足し西湘放射線技師会への改名が昭和 60 年との事、発足以来地域での健康生活の実現に大きく貢献されてこれ、多くの歴代会長様をはじめ役員の方々のご尽力に深く敬意を申し上げます。西湘放射線技師会様と共に歩んだ弊社であります、ここ近年はフィルムからデジタルの時代へ進んでゆき、フィルム現像から CR への移行は想像以上に早く西湘放射線技師会様各施設においては画像処理技術に対しご多大なご意見を頂きともに歩んでまいりました。時には故障、不具合にもご意見、お叱りも多く頂きより使いやすく、より良いものへのご意見を頂きました。現在 FPD への移行も進んでおりより良い画像処理技術と皆さま方に使いやすい商品提供を続けていく次第でございます。IT 関連では放射線科部門システムとして PACS/RIS、VINCENT をはじめ線量管理システムなどのシステムをご提供させて頂いております。昨今は AI の時代へと変化しております。時代の変化していく中でも FPD、マンモグラフィー、PACS などあらゆる製品を医療現場でより高度な検査、診断、結果を求められますので、その声に求めようと努力していく所存でございます。

また、西湘放射線技師会様におかれては今後 70 周年、100 周年とともに富士フイルムメディカル(株)も営業部門、サービス部門、業務/配送などスタッフ一同信頼され皆様の医療に貢献していくことを一丸となって努力していく所存でございますので今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

西湘放射線技師会様の益々のご発展を心より祈念申し上げ、お祝い申し上げます。

60 周年祝辞

株式会社フィリップス・ジャパン

鈴木 康哉



拝啓

残暑の厳しい折、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の被害に遭われました方々へ謹んでお見舞い申し上げます。

貴会が 60 周年の長きにわたって活動されてきたことに対し、あらためて祝意と敬意を申し上げます。60 年前といえばソニーが世界初のトランジスタテレビの発売、コカ・コーラが日本法人を設立するなど高度成長期の真っ只中でした。このような時期に貴会が始まり今日まで活動されているかと思うと、これまで会の運営に携わってこられた方々の熱意に感服致します。

ご参考までに弊社が日本市場に進出したのが 1952 年のことです。西湘地区の皆様にはこれまでも多くのご支援・ご指導を賜りましたが、これからも末永くお付き合いいただけますと幸いです。

貴会がこれまでも増し有意義な活動、社会貢献をされることを祈念して祝辞とさせていただきます。

敬具

創立 60 周年をお祝いして

株式会社島津製作所

横浜支店
野川 正和

西湘放射線技師会創立 60 周年、誠におめでとうございます。

昭和 35 年に西湘X-レイ研友会として発足されて以来、60 年という長きにわたり診療エックス線技術の向上に尽力されてこられましたことに敬服いたしております。

この 10 年間を振り返りますと、急速なIT化により情報伝達をはじめ、様々なことが便利に迅速に行われるようになりました。画像診断の分野におきましても、デジタル化が進み、旧来のアナログ方式でのフィルムや紙媒体での運用は過去の物へとなっております。一方、効率化されて行く中で患者様へのケアも重要視されてきており、技術だけでなく患者様へのサービスの向上を図らねばなりません。その中で、医療技術の更なる向上と患者様へのサービスの向上の両立を図り、維持されて行かれることは多大な努力が必要と思います。これらの技術の修得に対して定期的な勉強会を実施され、技術の底上げを継続して行われている姿は、メーカー側の者も大いに見習うべきだと考えております。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、経験したことがない社会生活を強いられている状況ではありますが、与えられた状況の中で工夫を重ねて、この難局を乗り切るよう、島津グループ一丸となって努力して参ります。今後とも、西湘放射線技師会とともに医療技術の向上に貢献できれば幸甚に存じます。

西湘放射線技師会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

10 年の歩み

西湘放射線技師会 50 周年から 6 0 周年へ 1 0 年の歩み

2010 年 4 月～2011 年 3 月

6 月 4 日 地区だより発行 岡田理事・名塚理事・小栗理事

7 月 30 日 西湘放射線技師会夏季レクレーション開催



10 月 15 日 地区だより発行 岡田理事・名塚理事・小栗理事

10 月 18 日 西湘放射線技師会 50 周年記念式典開催

10 月 18 日 西湘放射線技師会 50 周年記念 市民公開講座開催 大久保(実)理事



11 月 10 日 岡田啓士郎理事、神奈川県小田原保健福祉事務所所長表彰

11 月 10 日 宗像達也理事、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰



2月 3日 地区だより発行 岡田理事・名塚理事・小栗理事

2月 4日 西湘放射線技師会新年会開催

2011年4月～2012年3月

6月10日 地区だより発行 岡田理事・名塚理事・小栗理事

7月29日 西湘放射線技師会夏季レクレーション開催



10月14日 地区だより発行 岡田理事・名塚理事・小栗理事

11月 4日 西湘放射線技師会秋季学術講演会開催



- 11月15日 大久保実彦理事、神奈川県小田原保健福祉事務所所長表彰
- 11月15日 荒木昭博理事、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰
- 2月 2日 地区だより発行 岡田理事・名塚理事・小栗理事
- 2月 3日 西湘放射線技師会新年会開催

2012年4月～2013年3月

- 6月 6日 地区だより発行 岡田理事・樋口理事・杉山理事
- 7月 6日 西湘放射線技師会夏季レクレーション開催
- 10月 5日 地区だより発行 岡田理事・樋口理事・杉山理事
- 11月16日 西湘放射線技師会秋季学術講演会開催



- 11月16日 磯貝和久理事、神奈川県小田原保健福祉事務所所長表彰
- 2月 1日 西湘放射線技師会新年会開催
- 2月 1日 地区だより発行 岡田理事・樋口理事・杉山理事

2013年4月～2014年3月

- 6月 6日 第1回西湘放射線技師会研究会開催
- 6月10日 地区だより発行 岡田理事・樋口理事・杉山理事
- 7月 5日 西湘放射線技師会夏季レクレーション開催



- 10月11日 地区だより発行岡田理事・樋口理事・杉山理事

11月22日 西湘放射線技師会秋季学術講演会開催



11月12日 田中宗夫理事、神奈川県小田原保健福祉事務所所長表彰

11月12日 高木敬紀理事、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰

1月30日 地区だより発行 岡田理事・樋口理事・杉山理事

1月31日 西湘放射線技師会新年会開催

2014年4月～2015年3月

5月16日 千葉良助氏、春の叙勲 瑞宝双光章受章



5月22日 編集会議 高木理事・渡邊理事・杉山理事

5月24日 子育て支援フェスティバル 避難訓練・準備 大久保(実)理事出席

5月25日 子育て支援フェスティバル 大久保(実)理事、県技より、桂理事、天野理事出席
当会より宗像会長、磯貝副会長、稗田理事、中静氏出席



6月10日 地区だより発行

7月14日 西湘放射線技師会役員会開催

7月18日 西湘放射線技師会夏季レクレーション開催



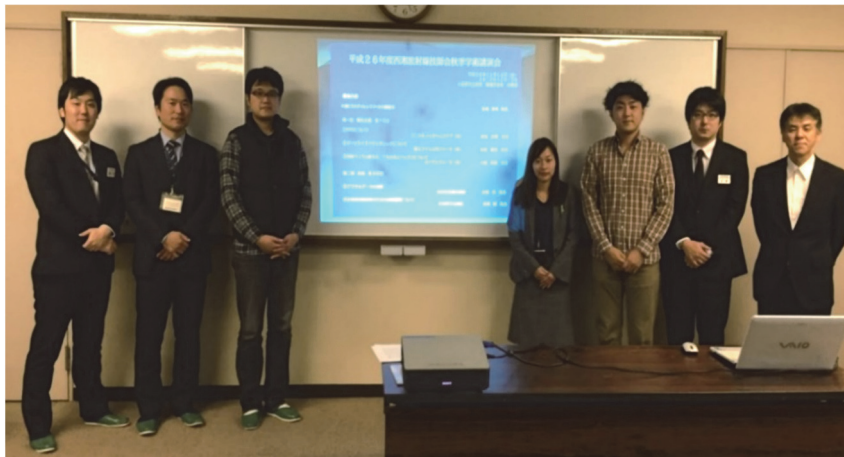
9月11日 神奈川県放射線技師会組織委員会 和田理事出席

10月 2日 西湘放射線技師会新旧役員懇親会開催

10月14日 地区だより発行 高木理事・渡邊理事・杉山理事

11月13日 神奈川県放射線技師会組織委員会 和田理事出席

11月14日 平成26年度西湘放射線技師会学術講演会開催



11月17日 宗像達也会長、小田原保健福祉事務所所長表彰

11月17日 長岡敏理事、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰

1月14日 神奈川県放射線技師会新春情報交換会 宗像会長、和田理事出席

1月27日 西湘放射線技師会役員会開催

1月30日 神奈川放射線だより医療施設紹介に山近記念総合病院 大久保(実)理事寄稿

2月 4日 地区だより発行 高木理事・渡邊理事・杉山理事

2月 9日 西湘放射線技師会新年会開催

3月13日 西湘放射線技師会役員会開催

3月25日 平成26年度西湘放射線技師会定期総会開催

3月26日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

随時 西湘放射線技師会ホームページ更新 大久保(靖)理事・小栗理事

2015年4月～2016年3月

4月24日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

4月25日 西湘放射線技師会の幟(のぼり)発注準備 尾川理事

5月14日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

5月16日 神奈川県放射線技師会総会運営委員会および組織委員会 和田理事出席

5月20日 西湘放射線技師会役員会開催

5月23日 子育て支援フェスティバル 避難訓練・準備 大久保(実)理事出席

5月24日 子育て支援フェスティバル 大久保(実)理事、県技より佐藤理事・松本理事・大内理事、
当会より宗像会長・磯貝副会長・長岡事務局長出席



5月29日 神奈川県放射線技師会総会 和田理事出席
6月 3日 長岡理事・樋口理事・名塚理事、夏レク打ち合わせ
6月18日 地区だより発行 高木理事・渡邊理事・杉山理事
7月 9日 神奈川県放射線技師会組織委員会 和田理事出席
7月17日 西湘放射線技師会夏季レクリエーション開催
9月 8日 西湘放射線技師会役員会開催
9月10日 神奈川県放射線技師会組織委員会 宗像会長出席
10月15日 地区だより発行 高木理事・渡邊理事・杉山理事
11月 6日 平成27年度西湘放射線技師会秋期学術講演会



11月 6日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
11月12日 神奈川県放射線技師会組織委員会 和田理事出席
11月17日 岩崎豊理事、小田原保健福祉事務所所長表彰
11月17日 名塚康弘理事、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰
11月17日 大久保靖史理事、神奈川県公衆衛生協会足柄上支部長表彰
11月24日 小田原市乳癌検診部会 大久保(実)理事出席

12月 2日 西湘放射線技師会役員会開催



12月11日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

1月13日 神奈川県放射線技師会新春賀詞交歓会 宗像会長、和田理事出席

2月 9日 地区だより発行 高木理事・渡邊理事・杉山理事

2月10日 西湘放射線技師会新年会開催



2月24日 西湘放射線技師会役員会開催

2月24日 第二回 西湘放射線技師会研究会開催

3月 1日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

3月 8日 西湘放射線技師会役員会開催

3月18日 平成27年度西湘放射線技師会定期総会開催

3月19日 横須賀三浦放射線技師会懇親会 宗像会長出席

随時 西湘放射線技師会ホームページ更新 大久保(靖)理事・小栗理事

2016年4月～2017年3月

4月 7日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

5月12日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席

5月12日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

5月23日 西湘放射線技師会役員会開催

5月27日 神奈川県放射線技師会総会に宗像会長出席

5月28日 子育て支援フェスティバル開催前日 避難訓練と準備のため大久保(実)理事、柳川理事出席

5月29日 子育て支援フェスティバル 大久保(実)理事、県技より佐藤副会長、松本理事、鈴木委員、丸田委員、
当会より長岡事務局長、大久保(靖)理事、小栗理事出席



5月31日 小田原超音波研究会 演者として大久保(実)理事出席

6月 2日 神奈川県放射線技師会依頼の『健康づくりイベント』 渉外活動として長岡事務局長出席

6月14日 地区だより発行 高木理事、稗田理事、杉山理事

7月 1日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席

7月 8日 西湘放射線技師会役員会開催

7月15日 西湘放射線技師会夏季レクリエーション開催



7月16日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席

7月27日 神奈川県放射線技師会総会 大塚理事出席

8月23日 小田原超音波研究会 大久保(実)理事が出席

9月 7日 西湘放射線技師会役員会開催

9月 8日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席

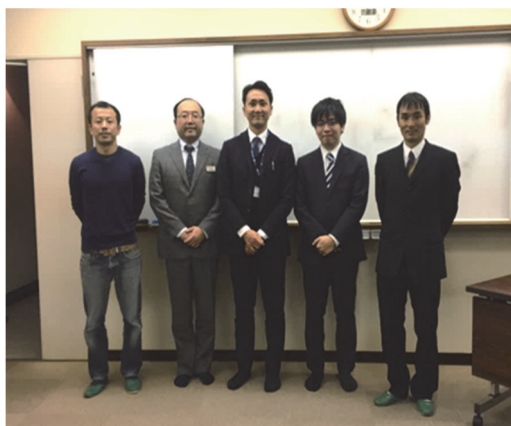
9月10日 ファミサボ祭り 大久保(実)理事、県技より金岩委員、山口委員、丸田委員、当会より平田理事、杉山理事出席



- 10月18日 地区だより発行 高木理事、稗田理事、杉山理事
- 11月 1日 高木理事、小田原保健福祉事務所所長表彰
- 11月 1日 平田監事、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰
- 11月10日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席
- 11月11日 中根精氏、秋の叙勲 瑞宝双光章受章



- 11月18日 平成28年度西湘放射線技師会秋季学術講演会開催



- 12月 6日 子育て支援実行委員会 大久保(実)理事出席
- 1月13日 神奈川県放射線技師会新春賀詞交歓会 宗像会長、大塚理事出席
- 2月 1日 子育て支援実行委員会 大久保(実)理事出席
- 2月 1日 地区だより発行 高木理事、稗田理事、杉山理事
- 2月 3日 西湘放射線技師会新年会開催
- 2月16日 西湘放射線技師会役員会開催
- 2月28日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 3月 3日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席
- 3月17日 平成28年度西湘放射線技師会定期総会開催
- 3月19日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 3月20日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席
- 随時 西湘放射線技師会ホームページ更新 大久保(靖)理事

2017 年 4 月～2018 年 3 月

- 4月 6日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 3月18日 横須賀三浦放射線技師会懇親会 宗像会長出席
- 5月11日 神奈川県放射線技師会総会 宗像会長、大塚理事出席
- 5月16日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 5月18日 西湘放射線技師会役員会開催
- 5月26日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席
- 5月27日 子育て支援フェスティバル準備 大久保(実)理事、大久保(靖)理事、小栗理事、柳川理事出席
- 5月28日 子育て支援フェスティバル 大久保(実)理事、県技より金岩委員、鈴木委員、丸田委員、
当会より宗像会長、岩崎副会長、長岡事務局長、大久保(靖)理事、名塚理事、柳川理事、山田氏出席



- 6月15日 地区だより発行 高木理事、稗田理事、杉山理事
- 7月 6日 神奈川県放射線技師会拡大委員会 宗像会長出席
- 7月 7日 西湘放射線技師会夏季レクレーション開催



- 9月 9日 ファミサポ祭り 宗像会長、大久保(実)理事、大久保(靖)理事、平田理事、杉山理事出席



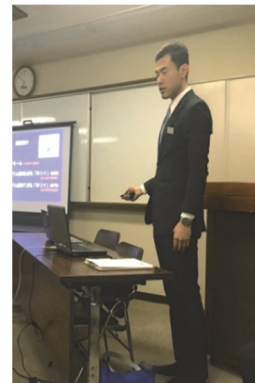
- 9月14日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席
- 9月29日 西湘放射線技師会役員会開催
- 10月17日 地区だより発行 高木理事、稗田理事、杉山理事
- 11月 9日 長岡敏理事、小田原保健福祉事務所所長表彰受賞
- 11月 9日 樋口義明理事、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰受賞
- 11月 9日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席
- 11月20日 田中宗夫氏、神奈川県知事表彰受賞
- 11月29日 平成29年度西湘放射線技師会秋季学術講演会開催



- 11月29日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 12月20日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 12月 7日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席
- 1月24日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 1月26日 西湘放射線技師会新年会開催



- 2月 4日 高橋博前会長、宗像達也会長、神奈川県放射線技師会功労賞受賞
- 2月 4日 神奈川県放射線技師会70周年記念大会 宗像会長、岩崎副会長、大塚理事、大久保(実)理事、長岡理事、小栗理事、稗田理事出席
- 2月15日 第3回 西湘放射線技師会研究会開催



2月23日 地区だより発行 高木理事、稗田理事、杉山理事
 3月 8日 神奈川県放射線技師会組織委員会 大塚理事出席
 3月17日 横須賀三浦放射線技師会懇親会 宗像会長出席
 3月23日 平成29年度西湘放射線技師会定期総会開催
 随時 西湘放射線技師会ホームページ更新 大久保(靖)理事

2018年4月～2019年3月

4月13日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
 4月19日 西湘放射線技師会役員会開催
 4月26日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
 5月10日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席
 5月15日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
 5月18日 西湘放射線技師会役員会開催
 5月25日 神奈川県放射線技師会総会 岩崎会長、亀山理事、宗像理事出席
 5月25日 子育て支援フェスティバル準備 大久保(実)理事、大久保(靖)副会長、長岡事務局長、柳川理事出席
 5月26日 子育て支援フェスティバル 大久保(実)理事、県技より佐藤副会長、金岩理事、松本理事、長岡委員、鈴木委員、前垣委員、丸田委員、当会より岩崎会長、大久保(靖)副会長、柳川理事、山田理事、宗像理事、磯貝理事、井上氏出席



6月 6日 神奈川県放射線技師会渉外委員会 大久保(実)理事出席
 6月18日 地区だより発行 大久保(靖)副会長、高木理事、稗田理事、尾川理事
 7月 5日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
 7月 6日 西湘放射線技師会役員会開催
 7月 6日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席
 7月20日 西湘放射線技師会夏季レクリエーション開催



- 8月 3日 神奈川県放射線技師会拡大委員会 岩崎会長出席
- 8月28日 神奈川県放射線技師会渉外委員会 大久保(実)理事出席
- 9月21日 西湘放射線技師会役員会開催
- 10月19日 地区だより発行 大久保(靖)副会長、高木理事、稗田理事、尾川理事
- 11月 2日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席
- 11月 6日 大久保靖史副会長、小田原保健福祉事務所所長表彰受賞
- 11月 7日 小野将之氏、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰受賞
- 11月 7日 佐竹孝一氏、秋の叙勲 瑞宝双光章受章



- 11月 8日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 11月13日 神奈川県放射線技師会渉外委員会 大久保(実)理事出席
- 11月16日 平成30年度西湘放射線技師会秋季学術講演会開催



- 12月 7日 西湘放射線技師会役員会開催
- 1月18日 神奈川県放射線技師会新春賀詞交歓会 岩崎会長、亀山理事出席
- 1月20日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席
- 1月24日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
- 2月 1日 西湘放射線技師会新年会開催



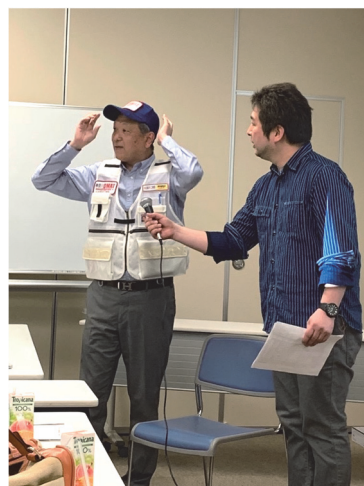
2月20日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
 2月22日 西湘放射線技師会役員会開催
 2月28日 地区だより発行 大久保(靖)副会長、高木理事、稗田理事、尾川理事
 3月 1日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席
 3月19日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
 3月22日 平成30年度西湘放射線技師会定期総会開催
 3月23日 横須賀三浦放射線技師会懇親会 宗像理事出席
 随時 西湘放射線技師会ホームページ更新 大久保(靖)副会長

2019年4月～2020年3月

4月12日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
 4月26日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席
 5月17日 西湘放射線技師会役員会開催
 5月24日 神奈川県放射線技師会総会に岩崎会長、長岡事務局長、宗像理事出席
 5月25日 子育て支援フェスティバル準備 大久保(実)理事、柳川理事、杉山理事、梶村理事出席
 5月26日 子育て支援フェスティバル 大久保(実)理事、県技より金岩理事、松本理事、白坂理事、
 当会より岩崎会長、大久保(靖)副会長、長岡事務局長、宗像理事、亀山理事、柳川理事、
 山田理事、梶村理事出席



5月31日 第4回 西湘放射線技師会研究会開催



6月19日 地区だより発行 大久保(靖)副会長、高木理事、稗田理事、尾川理事
 7月 3日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席
 7月 6日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席
 7月12日 西湘放射線技師会役員会開催

8月 9日 西湘放射線技師会夏季レクレーション開催



9月 3日 小田原市ふれあい健康フェスティバル実行委員会 大久保副会長、長岡事務局長出席

9月 6日 西湘放射線技師会役員会開催

9月18日 神奈川県放射線技師会渉外委員会 大久保(実)理事出席

10月23日 地区だより発行 大久保(靖)副会長、高木理事、稗田理事、尾川理事

11月 1日 令和元年度西湘放射線技師会秋季学術講演会開催



11月 1日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席

11月 7日 徳安俊二氏、小田原保健福祉事務所所長表彰受賞

11月 7日 柳川和好理事、神奈川県公衆衛生協会小田原支部長表彰受賞

11月 7日 堀栄治氏、神奈川県公衆衛生協会足柄上支部長表彰受賞

11月 8日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

11月10日 第40回小田原地区糖尿病週間行事 岩崎会長、大久保(靖)副会長、長岡事務局長、大久保(実)理事、宗像幹事出席

11月12日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

11月19日 神奈川県放射線技師会渉外委員会 大久保(実)理事出席

11月26日 第3回小田原地区糖尿病週間行事実行委員会懇談会に岩崎会長、長岡事務局長出席

12月 6日 西湘放射線技師会役員会開催

12月17日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

1月16日 子育て支援フェスティバル実行委員会 大久保(実)理事出席

1月17日 神奈川県放射線技師会新春賀詞交歓会 岩崎会長、亀山理事、宗像幹事出席

1月20日 神奈川県放射線技師会組織委員会 亀山理事出席

2月 7日 西湘放射線技師会新年会開催



2月14日 地区だより発行 大久保(靖)副会長、高木理事、稗田理事、尾川理事

2月21日 西湘放射線技師会役員会開催

3月 4日 神奈川県技師会渉外委員会 Web 会議 大久保(実)理事出席

3月13日 令和元年度西湘放射線技師会定期総会開催

随時 西湘放射線技師会ホームページ更新 大久保(靖)副会長

2020 年 4 月～2020 年 10 月

4月23日 西湘放射線技師会三役会議 岩崎会長、大久保(靖)副会長、長岡事務局長出席

6月18日 地区だより発行 大久保副(靖)会長、高木理事、稗田理事、尾川理事

7月22日 西湘放射線技師会役員会開催

9月 4日 西湘放射線技師会役員会開催

10月 2日 西湘放射線技師会役員会開催

11月吉日 西湘放射線技師会60周年記念誌発行

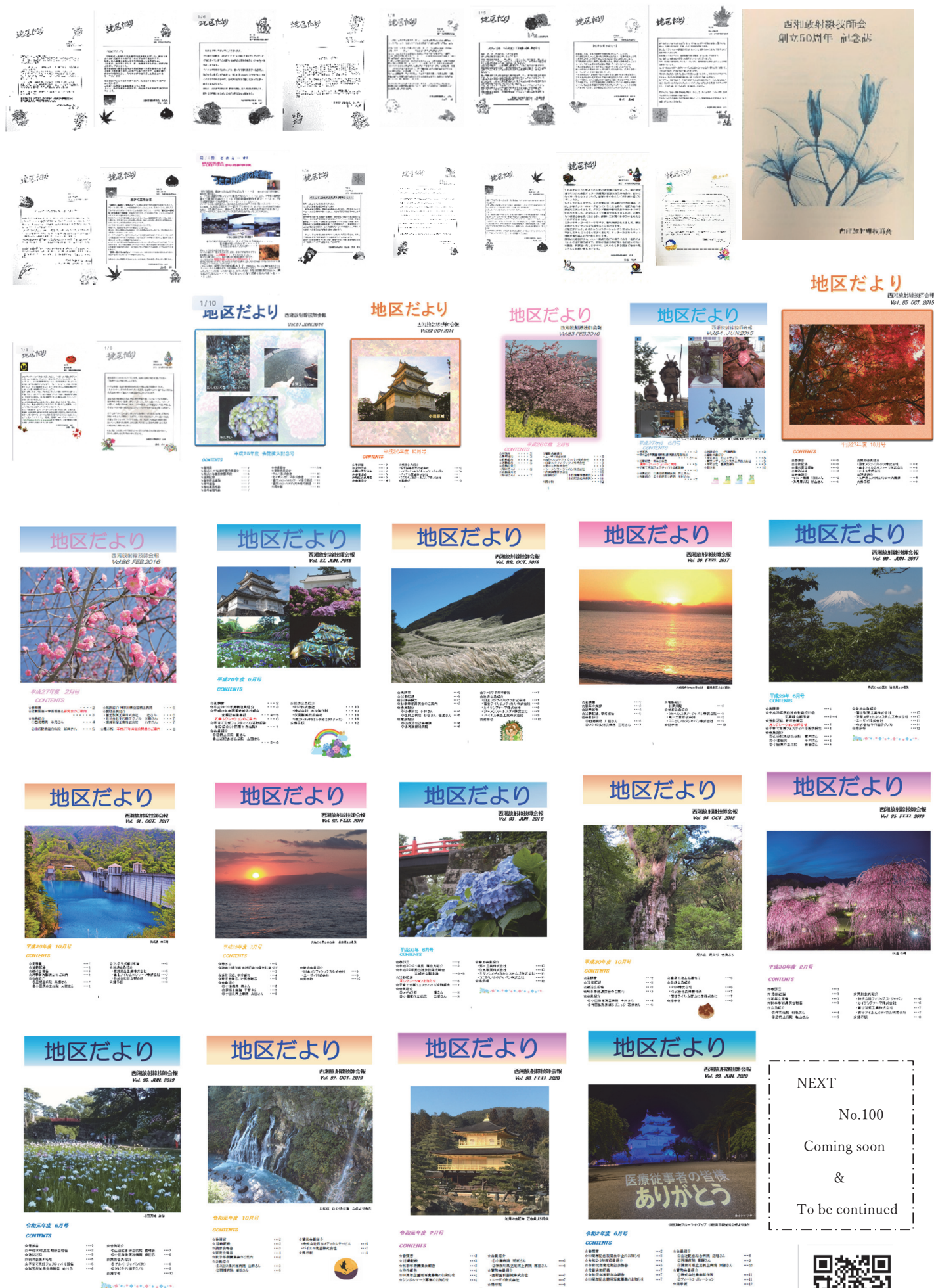
随時 西湘放射線技師会ホームページ更新 大久保(靖)副会長

歴代 地区だより 表紙一覧



地区だより No.1 1985.5.23 発行





過去の地区だよりをご覧になりたい方は、西相放射線技師会の HP にアクセスしてご覧下さい。

西湘放射線技師会 歴代役員

年度	役職	氏名	会名称
昭和 35 年	世話人	飯塚 芳郎 斉藤 友三郎	西湘Xレイ 研友会
昭和 36 年	〃	水沢 良隆	
昭和 37 年～昭和 42 年	〃	飯塚 芳郎 水沢 良隆	
昭和 43 年～昭和 44 年	地区委員	新宮 功二	西湘Xレイ 研友会 (県技師会 小田原・松田 地区)
昭和 45 年	〃	中田 照男	
昭和 46 年～昭和 47 年	〃	水沢 良隆	
昭和 48 年～昭和 49 年	〃	渡部 隆夫	
昭和 50 年～昭和 51 年	〃	宗像 源二郎	
昭和 52 年～昭和 53 年	〃	水沢 良隆	
昭和 54 年～昭和 55 年	〃	前原 常雄	
昭和 56 年～昭和 57 年	〃	宗像 源二郎	
昭和 58 年～昭和 59 年	〃	水沢 良隆	
昭和 60 年	〃	山田 孝	

昭和 60 年 11 月より会名を西湘放射線技師会と改める

昭和 60 年～昭和 61 年	会長 副会長 監事 会計 地区委員 学術 福利厚生 渉外 地区担当県技師会理事	中静 恒 渡部 隆夫 前原 常雄 宗像 源二郎 本郷 孝幸 山田 孝 橋本 実 徳安 俊二 中根 精 佐藤 洋 小宮 邦夫 斉藤 良久	西湘放射線 技師会
昭和 62 年～昭和 63 年	会長 副会長 監事 会計 地区委員 学術 福利厚生 渉外 地区担当県技師会理事	水沢 良隆 宗像 源二郎 杉本 津子男 本郷 孝幸 橋本 正文 山田 孝 橋本 実 徳安 俊二 中根 精 佐藤 洋 杉山 聖 (S62年) (S63年) 小宮 邦夫 斉藤 良久	西湘放射線 技師会
平成元年～平成 2 年	会長 副会長 監事 会計 地区委員 学術 福利厚生 渉外 装置精度管理委員 地区担当県技師会理事	宗像 源二郎 橋本 実 杉本 津子男 飯塚 芳郎 小宮 邦夫 千葉 良助 高橋 正文 高野 紀三夫 杉山 聖 和田 明彦 山田 孝 田中 宗夫 大和 寅明 斉藤 良久 栗田 達夫 (H 元年) (H2年)	西湘放射線 技師会

平成 3 年～平成 4 年	会長 副会長 監事 会計 地区委員 学術 福利厚生 渉外 地区担当県技師会理事	千安 式部 大木 達也 飯塚 芳郎 小宮 邦夫 茂呂 豊 千葉 良助 高野 紀三夫 坂本 重己 杉山 聖 大内 三次 山田 孝 徳安 俊二 栗田 達夫 千安 式部 (H3年) (H4年)	西湘放射線 技師会
平成 5 年～平成 6 年	会長 副会長 監事 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	大木 達也 山田 孝 小宮 邦夫 淀江 豊太郎 佐藤 英俊 坂本 重己 高野 紀三夫 百武 亜希子 中根 精 大内 三次 徳安 俊二 茂呂 豊 福島 均 (H5年) (H6年) 千安 式部	西湘放射線 技師会
平成 7 年～平成 9 年 県技師会役員任期と 合わせるため任期 を 3 年とした	会長 副会長 監事 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	小宮 邦夫 千葉 良助 中静 恒 宗像 源二郎 和田 明彦 岩倉 健治 大内 三次 坂本 重己 駒木 亨 (H7年) (H8～9年) 前田 繁一 高岡 憲良 徳安俊二 高野 紀三夫 佐藤 英俊 千安 式部	西湘放射線 技師会
平成 10 年～平成 11 年	会長 副会長 監事 総務 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	千葉 良助 田中 宗夫 中川 敏夫 山田 孝 中根 精 前田 繁一 岩倉 健治 高岡 憲良 西郷 秀樹 大久保 実彦 高木 敬紀 徳安 俊二 佐藤 英俊 岡田 啓士郎 千安 式部	西湘放射線 技師会

平成 12 年～平成 13 年	会長 副会長 監事 総務 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	徳安 俊二 田中 宗夫 高橋 正文 名塚 康弘 中根 精 前田 緊一 千葉 良助 高橋 博 広沢 勤 宗像 達也 高木 敬紀 佐藤 英俊 岡田 啓士郎 松澤 聡 櫻田 晃	西湘放射線 技師会
平成 14 年～平成 15 年	会長 副会長 監事 総務 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	田中 宗夫 中根 精 静 英苧 徳安 俊二 和田 明彦 樋口 義明 千葉 良助 前田 緊一 大久保 実彦 岩崎 豊 宗像 達也 佐藤 英俊 岡田 啓士郎 名塚 康弘 早川 俊一	西湘放射線 技師会
平成 16 年～平成 17 年	会長 副会長 監事 総務 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	中根 精 高岡 憲良 田中 宗夫 徳安 俊二 和田 明彦 品田 厚 佐藤 英俊 小林 淳 大久保 実彦 宗像 達也 樋口 義明 岡田 啓士郎 名塚 康弘 小野 将之 早川 俊一	西湘放射線 技師会
平成 18 年～平成 19 年	会長 副会長 監事 総務 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	中根 精 杉山 聖 和田 明彦 高岡 憲良 高橋 博 品田 厚 佐藤 英俊 大久保 実彦 瀧本 学 宗像 達也 名塚 康弘 岡田 啓士郎 小野 将之 小栗 丹 早川 俊一	西湘放射線 技師会

平成 20 年～平成 21 年	会長 副会長 監事 総務 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	高橋 博 野川 義昭 中根 精 杉山 聖 宗像 達也 長岡 敏 佐藤 英俊 瀧本 学 小野 将之 岩崎 豊 大久保 靖史 岡田 啓士郎 小栗 丹 鴨志田 正幸 早川 俊一	西湘放射線 技師会
平成 22 年～平成 23 年	会長 副会長 監事 総務 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 地区担当県技師会理事	高橋 博 野川 義昭 中根 精 杉山 聖 宗像 達也 長岡 敏 石渡 靖 瀧本 学 小野 将之 岩崎 豊 大久保 靖史 岡田 啓士郎 名塚 康弘 小栗 丹 松尾 清邦	西湘放射線 技師会
平成 24 年～平成 25 年	会長 副会長 相談役 監事 総務 会計 地区委員 学術 福利厚生 編集 Web 地区担当県技師会理事	宗像 達也 大久保 実彦 中根 精 高橋 博 野川 義昭 長岡 敏 稗田 洋二郎 渡邊 智彦 岩崎 豊 荒木 昭博 磯貝 和久 名塚 康弘 岡田 啓士郎 樋口 陽二 杉山 正和 大久保 靖史 和田 幸男 小栗 丹 松尾 清邦	西湘放射線 技師会
平成 26 年～平成 27 年	会長 副会長 監事 事務局長 会計 地区委員 学術 渉外 福利厚生 編集 Web 地区担当県技師会理事	宗像 達也 磯貝 和久 和田 明彦 岩崎 豊 長岡 敏 尾川 真太郎 和田 幸男 稗田 洋二郎 大久保 実彦 樋口 義明 名塚 康弘 高木 敬紀 渡邊 智彦 杉山 正和 大久保 靖史 小栗 丹 松尾 清邦	西湘放射線 技師会

平成 28 年～平成 29 年	会長 副会長 監事 事務局長 会計 地区委員 学術 渉外 福利厚生 編集 Web 地区担当県技師会理事	宗像 達也 岩崎 豊 磯貝 和久 平田 文高 長岡 敏 糸見 陽平 大塚 叔宏 柳川 和好 尾川 真太郎 大久保 実彦 樋口 義明 名塚 康弘 高木 敬紀 稗田 洋二郎 杉山 正和 大久保 靖史 小栗 丹 松尾 清邦	西湘放射線 技師会
平成 30 年～令和元年	会長 副会長 監事 事務局長 事務局 会計 地区委員 学術 渉外 福利厚生 編集 Web 地区担当県技師会理事	岩崎 豊 大久保 靖史 磯貝 和久 宗像 達也 長岡 敏 富田 興次郎 杉山 正和 亀山 佳也 柳川 和好 山田 太一 大久保 実彦 今村 郁哉 梶村 昂平 高木 敬紀 稗田 洋二郎 尾川 真太郎 大久保 靖史 松尾 清邦	西湘放射線 技師会
令和 2 年～令和 3 年	会長 副会長 監事 事務局長 事務局 会計 地区委員 学術 渉外 福利厚生 編集 Web 地区担当県技師会理事	岩崎 豊 大久保 靖史 磯貝 和久 宗像 達也 長岡 敏 富田 興次郎 杉山 正和 亀山 佳也 柳川 和好 山田 太一 大久保 実彦 今村 郁哉 梶村 昂平 高木 敬紀 稗田 洋二郎 尾川 真太郎 大久保 靖史 松尾 清邦	西湘放射線 技師会

西湘放射線技師会

正会員数：103 名（うち名誉会員 1 名） 賛助会員：23 社 個人賛助会員：1 名

令和 2 年 10 月 1 日現在

***** 賛 助 会 員 *****

エーザイ株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
コニカミノルタジャパン株式会社
G E ヘルスケアファーマ株式会社
株式会社島津製作所
西村医科器械株式会社
株式会社日本メディカルサービス
株式会社日立製作所
株式会社フィリップス・ジャパン
富士フイルム富山化学株式会社
伏見製薬株式会社
株式会社 J V C ケンウッド

カイゲンファーマ株式会社
ゲルベ・ジャパン株式会社
G E ヘルスケア・ジャパン株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
株式会社千代田テクノル
日本メジフィジックス株式会社
バイエル薬品株式会社
フィートコーポレーション
富士製薬工業株式会社
富士フイルムメディカル株式会社
堀井薬品工業株式会社
個人賛助会員：持田 幹夫

西湘放射線技師会創立 60 周年記念誌

発行者 西湘放射線技師会

発行所 西湘放射線技師会事務局
〒250-8558 神奈川県小田原市久野 46 番地
小田原市立病院 放射線科内

編 集 西湘放射線技師会創立 60 周年記念誌編集委員会

岩崎 豊	大久保 靖史	長岡 敏
富田 興次郎	杉山 正和	亀山 佳也
柳川 和好	山田 太一	大久保 実彦
今村 郁哉	梶村 昂平	
高木 敬紀	稗田 洋二郎	尾川 真太郎

発行日 令和 2 年 10 月 25 日

印刷所 オリンピア印刷株式会社

西湘放射線技師会ロゴマークの説明

当会のロゴマークが完成しました。
このデザインには次のような意味があります。



西湘放射線技師会

SEISHO Association of Radiological Technologists

モチーフは地域（湘南の波）、向上心・成長（虹）、信頼・協力（ねじり）、
優しさ・思いやり（暖色）、技術・スキル（寒色）です。

下部に波の形で西湘地区、上部に虹の形で向上心・成長を、軽くねじりまとめる形で信頼、協力を示し、当会のイニシャル「S」にまとめ立体感を持たせ、
未来に広がる形を表現しています。